

T M U

Bulletin for Tokyo Metropolitan University Alumni

2017年（平成29年） No.13



首都大学東京同窓会・会報

Tokyo Metropolitan University

同窓会会報 2017年(平成29年) 第13号 目次

巻頭言 古いぼれの述懐	黒石 輯 会長	2
理事長就任挨拶	島田 晴雄 理事長	3
評議員就任にあたって		
井上 一雅・國廣伽奈子・須藤理枝子・谷屋 翔		4
全評議員のご紹介		5
同窓生はいま		6～8
「私の学生生活－周りの方々からの応援に感謝－」中小路 董(6)、「私の生活の礎となった留学」荒井 李佳(6)、「科学技術をわかりやすく伝えるビジネス」長谷川和宏(7)、「交換留学生としての経験」フェリシア・オロフソン(7)、「駅長のお仕事」石井 光一(8)、「仕事も遊び、遊びも仕事」北原 隆(8)		
特別寄稿 房総の短期歩行「日本の海岸線を歩く会」		9
「大阪府立大学 WVOB との交流」山崎 隆、「雨のち晴れのさわやか歩き旅」水津まき子、「私なりの海岸線歩行」芳森 佳子		
同窓生訪問 北海道副知事 辻 泰弘さん	訪問者 根谷崎武彦	10～11
母校はいま		12～17
2016年度卒業式(12)、2017年度入学式(12)、OB・OG交流会 Part3の開催(12)、第65回首都大学東京・大阪府立大学総合競技大会は勝利(13)、第36回首都大学東京・横浜市立大学定期戦は惜敗(13)、公立大学法人首都大学東京第3期中期計画を策定(13)、本学が誇る17の研究センター(14)、同窓会長特別表彰授与式(14)、課外活動部門賞授賞団体(15)、第5回プロジェクト奨励賞授賞団体(15)、2017年度前期一般入試の合格発表(15)、川渕理事長のお別れセレモニー開催(15)、建築都市コースの卒業設計展開催(16)、2017年度オープンキャンパス開催(16)、出張大学説明会を仙台市と静岡市で開催(16)、NHK学生ロボコン2017に初出場特別賞を受賞(16)、カロリンスカから9名の学生が荒川キャンパスに来訪(17)、タイのチェンマイ大学と本学学生との文化交流(17)、首都大学東京は「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション世界ランキング」にて国内総合11位にランクイン(17)、第32回青鳩祭・第13回みやこ祭(17)		
司法試験 70校中9位で合格率は26.96%		17
大学事務局からのご報告		18
2017年度入試合格者・入学者数、首都大学東京名誉教授称号授与者、2017年3月31日付で退職された教授・准教授、2017年度首都大学東京教員免許状更新講習開設結果報告		
首都大学東京「コミュニケーションマーク」誕生		19
教育改革推進事業：東京の魅力の多言語発信を通して		19
支部だより		20～23
北海道支部(20)、関西支部(20)、東北支部(21)、第44回及び第45回埼玉八雲会研修会(22)、第1回多摩みやこ会を開催(22)		
表紙のことは「チェスキー・クルムロフ城」	小又富士夫	23
八雲クラブで会いましょう	丑山佐千男	23
2017年同窓会寄付講義		24
同窓会事務局からのお知らせ		25～27
同窓会会員からの一言		27
2017年度評議員会・総会・ホームカミングデー		28
友好の記念樹 ヤマモモ	日柳 政彦	28
第13回首都大学東京同窓会評議員会議事録抜粋		29
第13回首都大学東京同窓会総会議事録抜粋		30
恒例の七夕の会	久崎 力	30
寄付金受領のお礼 ご報告とお願い		31～32
計 報		33
TMUプラザ		34～38
銀座の画廊で念願の個展開催(34)、恒例の八雲三六会開催(34)、平成28年度東急八雲会(35)、第5回 TMU バレーボール部同窓会の開催(35)、柔道部 OB 会「八雲会の紹介」(36)、工学部 14 期卒業生「50 周年同期会」の開催結果(37)、都立大 22 期心理卒同期会(43 年ぶり、初!) (37)、硬式庭球部夏の OB・OG 会(38)、MUTIC15 50 周年の集い(38)		
首都大学東京同窓会会計報告		39
TDS 第32期会計報告		40
編集後記		40
首都大学東京同窓会・広報委員会会報編集委員		40



写真上から南大沢キャンパス
1号館・光の塔
日野キャンパス
科学技術交流施設
荒川キャンパス
校舎棟

老いぼれの述懐

首都大学東京同窓会 会長 黒石 輯

今年に入って、上野学長が、同窓会の本・支部の集いに参加され、大学の現状や将来の展望などを説明されている。

これは、同窓会との絆を強化したいとされる上野学長の発意に基づき動き出したもので、かつてない画期的な取組みといえる。

私どもとしても、同窓会規約に定める「大学の発展への協力及び相互の連携」を踏まえ、しっかりと上野学長の意向にお応えしたいものである。そのためにも本・支部の集いに会員諸兄姉のより積極的な参加をお願いしたい。

例年同様に秋も深まってくると、同窓会関係行事が多くなる。

その際に、若い人達との歓談の中で刺激を受けるケースが再三ならずある。が、老いぼれにとっては、刺激を受けながらもどうしても忌避感が伴うことがある。就中、通信手段に関する話題にはそうなりがちだ。

8月の理事会終了後の歓談の中で、チョードリ理事から『Skype』の利用提案が出され、それに応じて「9月の理事会はロスアンゼルスからSkypeで参加します。」等々話題が沸騰したが、いまだにガラ携で不便を感じない老いぼれは、相槌は打ちつつも一人蚊帳の外。

数日後、8歳になる孫から「Skypeで話をしたい。一人暮らしの爺ちゃんの顔を見ながら話せば、元気がどうか判りやすい。」と健気なことを言ってきた。老いぼれは「ウーン」と唸りつつも、一念発起してスマホを入手し、なんとかSkypeを立ち上げた。

使ってみれば、なるほど使用価値はあると認めざるを得ない。

通信技術の進歩は社会生活を大きく変革してきている。しかし、老いぼれはその変革に即応しきれない。さらに言えば疑義すら感じるものがある。

嘲笑を受けるかもしれないが、その一つに、ビットコインと言われ仮想通貨がある。老いぼれが知る通貨は、中央銀行が信用を裏付けている法定通貨であって、世界のネットワーク参加者が相互に監視することで信用が成り立っているらしい仮想通貨は、本当に購買力を担保するものなのかなかなか理解しがたい。しかしながら、最近では仮想通貨（ビットコイン）がテレビを通じて茶の間にも入り込んできている。仮想通貨が単なる投資対象にすぎないのなら納得もいくが、一部決済に関する動きも現実化してきているようであり、将来の変貌が気がかりである。

通信手段の進歩とその派生品の展開に、恩恵を受ける一方で疑義や忌避感すら覚えてしまうのは老いぼれの性なのだろうか。

それとなく、河島英五の『時代おくれ』を口ずさんでしまう。

理事長就任挨拶



島田 晴雄 理事長

平成二十九年四月に公立大学法人首都大学東京理事長に就任した島田晴雄です。小池都知事より理事長就任の要請をいただきましたので、今までの経験を活かし、また、国際都市東京としての強みを活かして、首都大学東京ならではの魅力を更に高めていくため、努力してまいります。

本法人は、首都大学東京と産業技術大学院大学として東京都立産業技術高等専門学校からなり、多様な分野で世界の先端を行く研究を行い、志の高い学生諸君にすばらしい教育を提供してまいります。

こうした多様性と複合性は、学内の交流や切磋琢磨を通じて他所では得難い相乗効果をもつと同時に、組織全体としてのさらなる統合性、総合性の強化を図るために互いが理解と協力をするのと、そして理念の共有をめざし格別の努力が求められます。

首都大学東京は日本を代表する公立大学です。

世界をリードする大都市である東京が運営する大学として、私は、学生や教職員の皆さんと一緒に、首都大学東京を、世界をリードする大学にしたいという夢を持っています。そのために、次の3つを、首都大学東京の皆様と一緒に実現したいと考えています。

一〇目は「G」、Globalizationです。これは法人の第三期中期計画で主要な目標としても掲げています。学生の海外派遣や留学生受入の推進、国際通用性のある教育研究体制の整備により、世界で活躍し、世界の発展に寄与する人材の育成をより加速させていきます。

二〇目は「O」、Only oneです。首都東京の唯一の知のセンターとして、潜在資源のある東京を世界最高の観光都市にいくため、研究・教育を含めあらゆる面で貢献していきます。

三〇目は「S」、Seniorです。世界でも比類ない超高齢化国家である日本で、生涯充実社会の実現をめざして東京を生涯教育モデル都市にするために、研究と実践を中心に取り組んでいきます。

世界は今、歴史的な転換点を迎え先人たちが築いてきた世界と社会の仕組みを根底から揺り動かす、戦後を築いてきた世代の人々が想像もしない世界になっていく可能性があります。

このような中で、最高レベルの教育・研究環境を有する首都大学東京の理事長として、意欲ある

公立大学法人首都大学東京理事長

島田 晴雄

学生諸君に優れた教育機会を提供して世界をリードする人材を輩出し、新しい時代を学生とともに切り開いていきたいと思っています。終わりになりますが、同窓会の皆様のご指導ご鞭撻を戴きたく、また、同窓会の更なる発展を心よりお祈り申し上げます。

島田 晴雄 理事長のプロフィール

昭和40年3月	慶應義塾大学 経済学部卒業
昭和49年6月	博士号（労使関係学）取得 ウィスコンシン大学
昭和57年4月	慶應義塾大学 経済学部 教授
昭和61年3月	MIT 訪問教授
昭和62年1月	ESSEC 交換教授
平成12年6月	東京大学先端科学技術研究センター客員教授
平成16年4月	(株)富士通総研 経済研究所 理事長
平成19年4月	慶應義塾大学 名誉教授
平成19年4月	千葉商科大学 学長
平成21年7月	(財)日本フィルハーモニー交響楽団 理事長
平成26年7月	公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 会長・理事
平成29年1月	公益財団法人 日本国際フォーラム 理事長
現在	公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 会長・理事 慶應義塾大学 名誉教授
主な	政府審議会委員等（平成13年以降） 男女共同参画会議（内閣府）専門委員 内閣府特命顧問 経済財政諮問会議（内閣府）専門委員 観光立国国際推進戦略会議 委員 対日投資有識者会議 座長 消費者行政推進会議 委員



井上一雅
いのうえ かずまさ

2008年首都大学東京大学院保健科学研究科修士課程（保健科学）。ハーバード大学医学部・研究員を経て、現在、首都大学東京大学院人間健康科学研究科・准教授。専門は、核医学物理学・保健物理学。



國廣伽奈子
くにひろ かなこ

2016年首都大学東京都市教養学部都市教養学科人文・社会系社会学コース社会人類学分野卒業。現在首都大学東京大学院人文科学研究科 社会行動学専攻社会人類学分野 博士前期課程在学中。



須藤理枝子
すどう りえこ

1996年東京国立大学理学部化学科卒。大手重工メーカー環境装置関連研究開発に従事後、現在ものづくり系企業の新事業創出・研究開発・人材育成のコンサルティング等を行う。(株)さがみはら産業創造センター 表面技術研究所 所長。

評議員就任にあたって

井上 一雅 (首都大院2008・保健科学)

この度、黒川副会長にお声を掛けていただき評議員に就任しました井上一雅と申します。私は、診療放射線技師国家資格取得後、都立保健科学大学大学院（修士課程）及び首都大学東京大学院（博士後期課程）へ進学して学位を取得しました。その後、国立がん研究センターおよびハーバード大学医学部で研究員として5年間勤務し、現在は荒川キャンパスに設置されている健康福祉学部の教員として勤務しております。荒川キャンパスには、最新鋭のMRI装置、核医学診断装置、放射線治療装置などが設置されており、これらの医療機器を用いた学生教育を行っているところであります。その中で、学生の臨床実習前後で実施している客観的臨床能力試験では、同窓会メンバーに模擬患者役としてご参加頂き在校生に対するご支援を頂いております。評議員として未熟者ではございますが、諸先輩と協力して同窓会および大学のさらなる発展に貢献できるよう努力する所存です。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

國廣伽奈子 (首都大2016・人文社会学系)

首都大学東京大学院人文科学研究科修士課程の國廣伽奈子と申します。三年前に本学の体育会で第十代委員長を務めた縁もあり、このたび評議員のご推薦をいただきました。同窓会の皆様方におかれましては、横浜市戦・府大戦をはじめ、日頃より学生の活動に多くのご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。本年度の定期戦を全て勝利で飾ることができたのも、ひとえに皆様のご声援のおかげでございます。既に体育会の一線から退いた身ではあります。後輩たちに代わりまして厚くお礼申し上げます。

これまで一学生として皆様方に助けられる側でしたが、評議員というかたちで同窓会のお役に立てる機会を頂いたこと、そして、本学の後輩たちを支える側に立てたこととても嬉しく思います。まだまだ経験不足の若輩者ではございますが、大学と同窓会の更なる発展に向けて尽力させていただきますので、何卒よろしくお願ひいたします。

須藤理枝子 (都44期・理・化)

このたび、理事会よりご推薦いただき、評議員に就任しました須藤理枝子です。私は都立大学理学部化学科を1996年に卒業後、民間企業に10年勤務した後起業し、現在は産学官連携などによる様々なものづくり系企業の新事業創出・研究開発、人材育成、及び地域創成の支援等をしております。

今日我が国では、少子高齢化が進み、大学の在り方は以前と大きく異なってきたり、中でも持続可能性や多様性が求められていると感じております。私はこれまでの経験を活かし、大学を拠点とした場作りや、その橋渡しのきっかけ作りの提案などができればと思います。そのためには、多くの方々の柔軟な発想・アイデアや創造性を取り入れ、結果していくことが大切と考えております。同窓会の諸先輩方や在校生の皆様にご貢献し、より活気ある私たちの大学らしい同窓会になりますよう、お手伝いさせていただきます。精一杯尽力いたしますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

谷屋 翔 (首都大2016・経営学系)

このたび、評議員に就任いたしました、谷屋翔です。在学中は八雲クラブへの参加などで、同窓会の皆様

に大変お世話になりました。

私は、首都大の都市教養学部経営学系を卒業後、北海道大学大学院の修士課程にて観光学を研究しています。首都大在学中は、経営学と副専攻にて観光を学び、その経験は今の研究に活かしています。在学中に私が感じたことは、学生が同窓会の先輩方とお話をする機会が多いことです。パーティに呼んでいただけたり、大学祭の屋台にお越しいただいたり、先輩方と多くの交流をすることができました。また、非常に多くの知見を得ることができました。今後、同窓会の皆様とともに活動をしていくにあたり、在学生との交流の機会を増やしていきたいと考えております。また、同窓会、首都大のさらなる発展のために、微力ではございますが、自らの経験を活かしてまいります。考えております。今後とも、よろしくお願ひいたします。



谷屋 翔
たにや しゅう

2016年首都大学東京都市教養学部経営学系卒業。北海道大学大学院修士課程。

同窓生はいま

私の学生生活

— 周りの方々からの応援に感謝 —

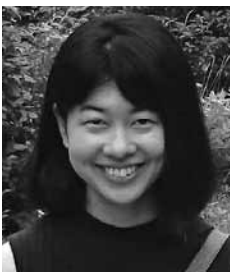
中小路 堇
(首都大院・理工学研究科 生命科学専攻修士1年)



中小路 堇
なかこうじ すみれ
2013年私立山手学院高等科卒。17年都市教養学部生命科学コース卒業。同年首都大学東京大学院理工学研究科生命科学専攻入学。

荒井 李佳
あらい りか

2013年都立墨田川高等学校卒業。13年4月首都大学東京経営学部入学。14年3月マッコーリ大学短期語学研修。8月上海復旦大学短期語学研修。15年8月16年6月スペインアルカラ大学長期交換留学。17年4月ダイダン株式会社入社。



私は現在、首都大学東京大学院に進学し、光合成細菌について研究しています。今年の7月末に生物工学会若手会のセミナーに参加し、初めて自分の研究を外部で発表致しました。外部の方々からアドバイスを頂いたり、他大学の学生や企業の方の研究や考えを伺うこともでき、研究者としての視野を広げることができました。更にはポスター優秀賞を頂くことができ、人に研究を伝える力も身につけられました。

上の大所帯になりました。ここまで応援団が成長できたのは周りの方々からの「応援」があったからです。体育会の皆様をはじめとした首都大の学生の皆様、横浜市立大学や大阪府立大学の皆様を始めとした他大学の方々、教職員の皆様、地域や八王子市のイベントにお招きして下さった方々、みやこ祭やイベントを観に来て下さった地域の方々、そして高見澤様、久崎様をはじめとした同窓会の皆様のご支援があったからこそと常に感じております。

また私は応援団を通じて、全力で頑張っている方を全力で応援すること、観客の皆様を笑顔にすることができるチアの魅力に更に引き込まれました。現在もベスカドーラ町田というフットサルチームの専属チアリーダーに所属し、チアダンスと応援を続けています。

人との繋がりを大切にすることをモットーにし、研究もチアも楽しみながら、人生を豊かにして行きたいです。

私の生活の礎となった留学

荒井 李佳 (首都大2017・経営学)

「荒井さんの作業着のサイズはMね。」と言われ、現場研修が始まりました。配属先の希望アンケートでは、「全国どこでも」という選択肢を選んだ結果23年間住んでいた東京から離れ、9月からは名古屋で一人暮らしをすることが決定しました。

ところで、私の一人暮らしは、留学でした。それは大学一年生の三月でした。GCPという、学部学科を超えた都市のリーダーを育成するという首都大のプログラムに参加しました。プログラムの集大成として、オーストラリアのマッコーリ大学に一月の語学研修がありました。大学三年生の九月からは、長期交換留学生として、スペインのアルカラ大学に留学しました。現地の方の食文化やライフスタイルを直に経験するにはホームステイが一番良いと考え、寮ではなく現地の方と住むことを選択しました。

留学を経験し、語学力や、各国の人の個性や物事の考え方に対する知識をさらに深めることができました。そして何より、サバイバル力を高めることができたと思っています。スペイン語が話せない状態で留学生活が始まりました。留学初日か

ら、インターネットの翻訳サイトの利用なしではホストファミリーとの会話も出来ず、大泣きしたこともあります。意味が分からなくても、チャレンジ精神でイエスと答えていましたが、留学が終わるころには、現地の人との会話がスムーズにできるようになり、自分の考えや意思表示を正確に相手に理解してもらえるようになりました。どこの国でも生きたいけるという自信ができました。



フラメンコにも興味をもった筆者 (左端)

スペインから帰国してからは、自分の語学力だけでなく、趣味や自分の健康管理に気を使っています。ホームステイ先の料理はとておいしく、5食残さず食べていたため、留学前に比べて体重が8キロほど増えて帰ってきました。しかし現在では、週に2〜3回プールで泳ぎ、自転車に乗って



フェリシア・オロフソン
Felicia Olsson
スウェーデン、ウメオ大学、
数学専攻、修士課程で最適
化サプライチェーン管理を
勉強中、2017年4月より
8月迄交換留学生として
首都大学人文科学科日本
語・社会系コースに在籍

長谷川 和宏
はせがわ かずひろ
1998年神奈川県立新城
高校卒業、2003年東京
都立大学工学部機械工学科
卒業、05年大学院工学研
究科修了(工学修士)。05年
株式会社リバネス 人材開
発事業部長、13年株式会社
グローカリンク 代表取締
役執行役員。

筋力をつけることを日課にしていま
す。休みの日には、山にハイキングに
行くなど、仕事と運動とのバランス
をうまくとるように心がけています。
名古屋でも、運動の習慣を継続してい
きます。そして、将来は海外で働きたい
です。スペインでは、働き方に
対する考え方の違いを目的の当たりに
しました。そこで、現地の方の働き
方に対する意識と、日本での意識の
違いの間を繋ぐ、架け橋のような役
割を果たしたいと思っています。本
配属先の名古屋で、仕事の知識を高
め、海外でも働いていけるスキルを
身につけたいと思っています。

科学技術をわかりやすく 伝えるビジネス

長谷川和宏(都大院2005・工・機械)

私は修士課程在学中、他大学の理
工系学生たちとともに株式会社リバ
ネスという会社を立ち上げ、今年で
設立15周年を迎えました。執行役員
という立場で最先端の科学を子ども
たちに伝える教育事業、研究者と企
業をつなぐような産学連携、研究開
発型ベンチャーの事業化支援などを
中心に事業を展開し、現在では国内
4拠点とアメリカ、イギリス、シン
ガポール、マレーシアに子会社を持
ち、60名を超える修士号と博士号を
もつ社員が働く会社へと成長をして
います。

最近では、立ち上げから支援して
いた株式会社ユークレナと一緒に
リアルテックファンドを立ち上げ、
100億円近い資金を集めて大企業と
もに大学発ベンチャーに対して投資
とハンズオン支援を行ったり、熊本
県・肥後銀行・熊本工業連合会とリ
バネスの4者で協定を結び、地域で
の事業創出にチャレンジしたり、町
工場の活性化をサポートしたりと、
幅広い活動を展開しています。

また、私自身もグローカリンクと
いう会社の社長として、リバネスと
日本たばこ産業から出資を受け、特
に立ち上げ期のベンチャーに対して
500万円程度の小口投資と経営支援を
行う事業も推進しています。電気通
信大学や早稲田大学、和歌山大学発
ベンチャーなど、2年間で10社の会
社に対して投資を行い、現在も支援
を続けています。

これまでの15年を振り返ると、ビ
ジネス経験もないただの理系学生集
団がここまで成長できたのは、「科学
技術をわかりやすく伝える」ことを
突き詰めていった結果だと思えます。
科学技術の世界も細分化が進んだた
め、幅広い分野の技術を理解し、伝
えられる人間は多くありません。そ
こで私たちは、様々な研究分野の研
究者の想いや研究内容を理解し、企
業に伝え、新たな事業アイデアを一
緒に考え・実行することで産学連携
や新規事業を生み出してきました。
このようなニーズは、国内だけで
なく、近年著しく発展しているアジ

ア地域やベンチャー企業が数多く成
功しているシリコンバレーでも同様
です。人々の注目はITから大学で
研究されているような技術へとシフ
トしており、今後研究者に期待され
る役割はもっと大きくなっていきま
す。研究者が生み出す新しい知を社
会へと実装することを通じて、世界
の課題を解決するチャレンジを今後
も続けていきたいと思っています。

交換留学生としての経験

フェリシア・オロフソン
(首都大学人文科学科日本語・社会系)

私の名前はフェリシアです。出身
はスウェーデンです。私は23歳で数
学を使った土木工学を勉強していま
す。私の指導教授は最適化とサプ
ライチェーン管理に携わっています。
今はTMUの交換留学生です。TM
Uでは日本語と日本の文化を勉強し
ています。私の趣味は運動をするこ
とで、私は柔道部に所属していまし
た。柔道部はとても楽し
かったです。新しい友達
を作ることや日本をよ
り知ることができる素
晴らしい経験でした。

私がなぜ日本に来た
かったのかと言うと、山
や多くの自然にほど遠
くないところに大きな
栄えた都市での生活が



あり、とても素晴らしい国だと思っ
たからです。
もう一つの理由は、日々の生活に
密着した伝統や文化、そしてそれら
は自分の国スウェーデンとは全く異
なっているということでした。
この交換留学の中での一番の思い
出は、素晴らしい人々と出会い、他
の国や文化について学び、より広い
視野と理解を得たことです。
久崎さんの家での七夕パーティー
に参加する機会があり、とても感謝
しています。日本の伝統的な家を見
た後で着物を着てみました。(これ
は想像以上に難しかったです！)
素晴らしい人達と一緒に踊り、出
かけることができとても幸せでし
た。あなた方の文化、知識、そして
楽しみを共有していただき有難うご
ざいました。また、私達交換留学生
に優しくそして常に気にかけていた
だき有難うございました。またお会
いするのを楽しみにしています！
原文は英文・翻訳・原口徹(システ
ムデザイン学科航空宇宙システム工
学コース2年)

石井 光一
いしい こういち

1976年福島県立白河高等学校卒業。都立大学経済学部経済学科卒業。80年日本国有鉄道入社。87年東日本旅客鉄道(株)入社。2015年6月品川駅長。(株)JR東日本情報システム取締役総務部長。



北原 隆

きたはら ゆたか

1987年3月東京都立大学建築工学科卒業。同年(株)乃村工務社入社。90年4月アトリエかたくりご設立。「仕事も遊び、遊びも仕事」をキャッチフレーズに活動を展開。2003年から専門学校等で講師。10年からは東京モード学園講師。09年4月現場通信設立。09年1月DLEDA一般社団法人LED光源普及開発機構企画顧問に就任。

イベント業界を目指す人と現場を結ぶ『Go. 版撮入口会議』を開催中。



駅長のお仕事

石井 光一 (都28期・経済・経済)

平成27年6月23日から2年間、品川駅で駅長をやっておりました。同窓生で駅長は初めてだろうとのことですので、少しかだけ駅長の仕事をお話しさせていただきます。

駅の仕事は朝が勝負です。品川駅の通勤混雑時間帯は8時からの50分間、駅では特別の態勢をとってお客さまの安全を支えていますので、駅長はその前にスタンバイします。と言っても、駅自体は24時間動き続けていますから、駅長がいない時間帯には助役が交代で当務駅長として駅を守っているのですが・・・。

品川駅の乗車人員は1日37万人、JR東日本管内では第5位の規模で、乗換えのお客さま等を加味すると日々100万人を超える様々なお客さまにご利用いただいています。

駅の日常を「密着24時間番組」風にご紹介すると、月曜の朝は体調を崩した老若男女が廊下まで溢れ野戦病院さながらの状態になります。痴漢等のトラブルも相変わらずです。パトカーも救急車も頻繁に出入りします。金曜の夜は酔っ払いがいっぱい。輸送が順調なら夜中の1時半頃にはシャッターを閉めますが、自由通路には酔客が数多く転がっています。



品川駅の職員と… (中央が筆者)

読者の皆様はくれぐれも自重してください。しかし、それらは日常の1コマであって、輸送混雑時は全く異次元の世界が展開されます。駅にも多くのドラマがあります。

ところで、報道されているように3年後のオリンピック・パラリンピック直前には、山手線で50年ぶりとなる新駅が品川駅の構内に開業します。将来的には駅周辺で大規模な開発事業が計画されており、羽田や成田など空港アクセスのゲートウェイとしても、汐留や新宿サザンテラス、品川駅港南口の発展を凌ぐような大変貌を遂げるようになります。ご期待ください。

仕事も遊び、遊びも仕事

北原 隆 (都35期・工・建築)

建築工学科を卒業してディスプレイ業界に進みました。さらに、店舗デザインの仕事から店舗装飾の仕事に進み、現在はイベント関連(アイドルやゲームやゴジラや映画やアニメやウルトラや漫画やロックなど)エンターテイメント系の仕事を中心に行なっています。

店舗系デザインの仕事とイベント系デザインの仕事の大きく違う点は壊して終わるといふことです。作ってイベント本番を行ない、壊して終了。だから後には何も残りません。

かっこよく言えば「記録に残らなくても記憶に残る」そんな仕事を指しています。

イベントの世界は、常に新しいものが求められます。そのために情報を集めるのも大切です。

イベントの中でも特にエンターテイメント系の仕事は、お客様にいかにも楽しんでもらうのが大切。なのでコアファンの気持ちも知っていないとはなりません。だから遊ぶことはとても大事です。

僕は仕事をするときゲームならやってみる。漫画なら読んでみる。ライブなら行ってみるようにしてい

ます。実際に体験しないと本当の楽しさはわからないものです。

しかしただ遊ぶだけではダメです。遊びながらも仕事の視点を忘れずに情報をサーチし、仕事をしながらも遊びの気持ちを忘れないようにする。

なので『仕事も遊び、遊びも仕事』というわけです。

これが僕の仕事です。どうですか？楽しそうですね？



筆者が企画施工を手がけた展示会場

房総の短期歩行「日本の海岸線を歩く会」



大阪府立大学WVOBとの交流

山崎 隆 (都23期・理・化学)

房総半島の外房、安房鴨川から千倉の約28kmを2日に亘り歩きました。ワンダーフォーゲル部(WV)OB会の活動の「日本の海岸線を歩く会」についてはこのTMU同窓会報の2014年No.10で発足の経緯と概要、歩行の実施状況を当会の江守会長から、更に今回の歩行につながる2015年の房総(外房)のお試し歩行の活動報告と大阪府立大学ワンダーフォーゲル部OB会との交流の概要を2015年No.11で住山事務局長から特別寄稿しております。

2013年4月、歩行を開始して、早くも4年有余を経て、高齢化も進み、現在3600kmとなった歩行距離も伸びなやみ状態でした。新しい参加者が加わる歩行機会を作ろうと「短期歩行」として一泊二日(日帰りも可)の歩行企画を事務局主催で行うことになり、2015年のお試し歩行の続きになる外房で2017年春に実施することになりました。

4月1日JR外房線安房鴨川駅に集合した参加者12名、生憎の雨模様、海岸沿いは風も強く、昼も近いので早々に雨宿りと思ったが、歩き始めて元氣、好奇心が強く鴨川港の突端の厳島神社の弁天様にずぶぬれで詣で、歩行の安全を祈りました。名所の仁右衛門島はスキップして昼食後、太海から主に外房黒潮ライン(国道128号線)を歩き、午後は雨も小ぶりになり、江見海岸の堤防沿いで、鹿島鳴秋の浜千鳥の歌碑

を見つけ、歌える年齢の違いを感じます。捕鯨の和田浦くじら家は残念ながら素通り、民宿花の宿「安田」にお世話になりました。約15kmとゆつくり景色を楽しみながらの初日歩行でした。クジラと海の幸と適度なお酒を楽しんで疲れをとった2日目は晴天、朝からサーファーで賑わう和田浦の海岸沿いを、約13km千倉駅を目指して潮風を受けながら歩行、途中、「ひじき」の加工をされている漁師の方々とお話し、北緯35度最東端標識を発見で、歩行でなければ体験できない人との交流と景色を楽しみました。そして、千倉駅前

で打ち上げ解散と無事歩行完了。今回も交流のある大阪府立大学ワンダーフォーゲル部OB山田さん、OG芳森さんにご参加いただきました。二人には、海岸線を歩く会のみならず、彼らの山小屋(白山麓の檜山荘)と我が部山小屋(群馬、鹿沢木賊小舎)の交流などで大変お世話になっております。また、前回ご参加の黒石同窓会会長は都合がつかずご参加頂けなかったが、イベントなどでお世話になっていらっしゃる同窓会理事の水津さんに参加いただきました。そこで、芳森さんと水津さんに歩行の感想を書いて頂きました。

これからも、東関東ブロック(千葉県一茨城県の海岸線)の短期歩行の企画を考えております。日本の海岸線を一緒に歩きませんか。歩行を通じて交流の輪を今後も広げていければと思います。活動の詳細は、HP: www.tmuwvob.com 「日本の海岸線を歩く会」を是非ご覧下さい。

雨のち晴れのさわやか歩き旅

同窓会理事 水津まさ子 (都20期・人文・社会)

4月1日、旅の初日に降り立った安房鴨川駅は非情にも冷たい雨、いきなり雨具で完全武装の出発となりました。海岸線を歩くと言うけれど、どんな道を歩くのかなと思っていたのですが、車の行きかう県道から、海岸沿いの遊歩道、時には堤防の上や漁港の端っこ、所々で海岸の砂の上等々、とにかく遠回りしてでもまさに海岸線を探して歩くのです。道すがら、厳島神社の弁天様や浜千鳥の歌碑に立ち寄ったり、いろいろな花を観察したり、雨にも負けず歩きました。ワンゲルOBの皆さん、歩くことが大好きでまめで好奇心旺盛、博学、律儀、いろいろなことに感心しながらついていきました。

二日目は晴れ、和田浦の海岸でサーファーを眺めながら、気持ちよく歩いているとひじきの加工作業をしている方達を発見、親しくお話を聞き、試食もさせていただきました。房州ひじきは採ってからですぐ橙と一緒に煮て、それから干すのが特徴だそうです。昼過ぎにゴールの千倉駅に無事到着、駅前食堂で打ち上げ、2日間で28km完歩できました。

リーダーの山崎さんや民宿で同室だった府立大の芳森さんを始め、皆さん、お世話になりました。行く先々で様々な風景や人との出会いを楽しみながらの素敵な歩き旅、楽しかったです！日本の海岸線はまだまだ長いですよ、また、どこかの海を見ながら一緒に歩きたいと思っています！

私なりの海岸線歩行

芳森 佳子 (府大WV O G)

「ユーラシア大陸横断2万km歩行」今もって信じられないような壮大な夢と冒険とロマン。それを成し遂げたTMUWVって？との興味が「日本の海岸線を歩く会」に参加させて頂いたそもそのきっかけでした。そして海岸線と言えば新鮮な海の幸。食いしん坊にはこちらも大きな魅力？

房総半島は以前にも訪れた地。しかし今回歩いたからこそ知り発見した事が多く、脳裏にしっかりと焼き付く忘れ得ぬ地となりました。視覚も嗅覚も聴覚も：「歩く」というのは違った五感が働くの？これが歩く魅力かも。等々思いつつ、雨でも青空でもいろんな表情を見せてくれる海を眺めながら、和氣あいあいとても楽しい歩行となりました。

ワンゲル卒業後数十年を経た現在も、横の繋がりのみならず、年代を越えた縦の繋がりを持ち、ユーラシア完遂から時を経ずして再びこのような大きな目標に挑んでおられることに驚きと羨望の念を感じずにはおれません。そんな素敵な企画に府大WVの私達も快く受け入れて頂き感謝しております。

勿論、各人其々の思いを持って歩いておられることでしょう。私が昨年歩行した伊勢志摩は亡き父との想い出が一杯。水平線を真っ赤に染める大きな夕陽に父の笑顔を重ね、只々感動：感謝と懺悔の思いと共に。

今後も私なりの歩行の喜びを抱きつつ皆さまの目標の一翼を担わせて頂ければ幸いです。

同窓生訪問

北海道副知事 辻 泰弘さん

聞き手・広報委員 根谷崎武彦
取材：2017年7月3日（月）
北海道庁副知事室にて

首都大学東京の同窓生は今や6万人を超え、日本国内はもとより、国境を越えて、世界中で活躍しています。会報TMUでは今号より、各界で活躍する同窓生を現地に訪ねて、活躍の模様を紹介いたします。

今回は卒業以来北海道庁に勤務され、現在は副知事としてご活躍の辻泰弘氏へのインタビューです。

札幌のランドマーク、レンガ造りの旧北海道庁が窓の外に見える副知事室でお話を伺いました。

根谷崎：おはようございます。10期理学部化学科卒の根谷崎武彦です。

さっそくですが副知事のご出身はどちらでいらっしゃいますか？

辻副知事：実家は東京なのですが、高校は北海道の高校でした。親が東京に戻った関係で都立大学に入りました。家庭の事情もあって、アルバイトをしながら勉強できる大学ということで都立大学に入りました。

当時の都立大は昼夜開講制でしたので、無理なくアルバイトが出来ました。学生にとって非常に勉強しやすい環境の大学で、他の大学にはないユニークなシステムでした。朝の9時から夜の9時まで、いつでも好きな時間に講義を受けられるというのはとても便利でしたし、大学の立地条件も良かったのです。東京都立大学という名称も府立高校時代の校風と伝統を受け継ぐ良い名前です。

根谷崎：ご卒業は経済学部経済学科でしたね。

辻副知事：そうです。進学する学部は迷ったんですが、数学が好きだったので、経済学部を選びました。今でも政策を考える際など数学的な思考方法が役に立っています。経済学部は八雲でしたから仕事しながら勉強するためには非常に便利でした。

私は都立大学時代から同窓会支部の事務局をやっていましたが、大学合併で大学名が変更になると同窓会を脱会する同窓生が何人もいました。脱会の理由は様々でしたが、大学名に「首都」が入ったことで、学校の主体が学生目線から管理目線に変わったという意識があったのです。

同窓会の北海道支部は変わらず続いています、会員の中にもわだかまりがあるようです。やはり大学名は前の方が良かったように思いますね。

根谷崎：大学当局では改革の第一段階として、一般の人にわかりにくい今の学部名・学科名を変更し、理学部物理学科のような昔の名称に変更を計画している

そうです。

辻副知事：私は副知事の職務の一環として公立学校の掌握も担当していますが、例えば北海道の公立大学法人である札幌医科大学との関係でいえば知事と大学は緊密に連携しています。札幌医科大学自体、地域医療に力点を置いている学校でもあり、自治体との連携は不可欠なんです。東京都も知事が交代した現在、どのような関係が構築されるのか注目しています。

最近の母校は「これがかつての私の母校か？」と耳を疑うような変節があったわけで、今後どのように計画されるのか期待しています。

北海道支部の会合でも首都大学になってからの卒業生は違和感なく入ってくるのですが、都立大時代の同窓生には名称の変更に違和感があるようです。

副知事としての私の担当は財政・経済・保健福祉・国際関係で、教育も保健福祉の一環とし

て私のテリトリーなんです。

その一方で首都大は大学合併でいろいろな分野の学部が増えて、都立大時代はなかった幅広い視野の卒業生が社会に出てくるというメリットもありますが、都立大学は学生を大切に育てていたという印象がありました。

担当範囲の一環として、先週は北方領土調査団として行ってまいりました。日差しが強かったので、ご覧のとおり顔が日に焼けました（笑）。

国際関係でいえば、いま北海道は東南アジアや中国が北海道観光や北海道産品の輸出先として人気があります。領土問題はありますが、ロシアが一番近い国として、自治体ならではの交流もやっています。2月の厳冬期でも交流の一環としてロシアに行っています。

根谷崎：最近の北海道は中国・台湾・韓国の観光客が増えたようですが・・・

辻副知事：ハイ、特にLCC路線が開設された韓国は増えましたし、東南アジアも直行便ができた関係で増えました。東南アジアのお客さんは冬を知らないもので、雪を体験したいということでおいでになる方も多いのでスキーリゾートのPRもしています。

根谷崎：観光客の急増で日本の国法や習慣をわきまえないためのトラブルもあると聞きました。

辻副知事：最近は大いにお互いの理解が進んで良くなってきました。領事館の話では、出国前のPRが進んできたようです。

根谷崎：先ほどもこの副知事室に来るために、観光スポットになっている赤煉瓦の旧道庁舎の前を通ったら、大勢の観光客がいて聞こえてくる彼らの会話はほ

辻 泰弘
つじやすひろ
北海道副知事
北海道立
砂川南高校卒。
都26期・経・経済

『同窓生訪問』に登
場する卒業生をご紹
介ください。

『TMU』編集部
では読者の皆さんか
らの同窓生訪問に登
場するOBのご紹介
をお待ちします。

次号14号ではでき
れば沖繩か九州で
活躍するOBの紹介
をしたいと考えてお
りますが、地域を限
定せず、紹介したい
OBをご存知でした
ら事務局までご連絡
ください。話題を呼
ぶ方なら有名無名は
問いません。

とんど日本語が聞こえませんでしたね。

辻副知事：ハイ、ここ4・5年の傾向で、外国人観光客が増えてきました。その一方、道内の物産品に目を向けると最近では北海道のコメもおいしくなってきました。果物でもブドウが原料のワインもおいしくなってきましたし、夕張メロンも有名になりました。

残念ながらじゃがいもは今年の台風でちょっと残念でしたけれど。北海道の農業は大規模化がますます進みました。漁業もホタテなど高く売れていますし、地産品が力をつけています。

根谷崎：地球の温暖化が進行してきて、近い将来リンゴの栽培も北海道が有力だという話も聞きました。

辻副知事：農業は機械化を進めて省力化を図ることで、後継者も増えてポテンシャルが大きいと思います。生産可能地の北限も上がってきています。もっとも大規模化で作りすぎると、値崩れしますが（笑）。

農産物にはあまり心配はないのですが、漁業は獲れる魚種が代わったりして若干心配な点はあります。イカをはじめサケ・マスも将来戻るとはならないかという観測もありますが、いまは厳しい状況です。ホタテなど栽培漁業が定着してきた漁業は心配ないですが。

北海道は地産力が強いので将来も頑張れると思いますが、ただ最近では人口の分布が変わってきて、札幌は増えたが地方の人口が減ってきているのが気になります。

根谷崎：ところで大学時代のゼミの指導教授はどんなだったのでしょうか？

辻副知事：奥口孝二先生（数理経済学）です。奥口先生は北海道出身の先生です（編集注・高校は苫小牧）。不思議な縁で、奥口先生の同級生が私の家内の母親ということが結婚してからわかったんです。

都立大は少人数教育でしたので、先生と学生との関係は非常に近かったですね。

根谷崎：私の在学中も先生と学生との関係は近くて、いろんなことを師弟が一緒になってやっていました。在学中、クラブ活動は何かおやりになりましたか？

辻副知事：サッカーは少しやりましたが、アルバイトが忙しくてクラブ活動はあまりやりませんでした。アルバイトはデパートの売り子とかお中元の配達、野球場でビールの売り子もやりました。もちろん家庭教師もやりました。

大学時代の思い出として、ナイトハイクがあって、鎌倉の由比ガ浜まで夜通し走っていくんですが、背中に一升瓶を背負って参加した人がいましたが、重いものだから途中で投げてしまいました（笑）。

根谷崎：就職先に北海道を希望されたのは「北の大地に行こう」みたいな大志があたりだったのでしょうか？

辻副知事：本当は東京に就職しようと思って、最後の最後まで迷いました。北海道で何ができるのか？私

のアタマの中の北海道は農業のイメージが強かったの
で専攻の経済系の仕事ってあるのか？

最初は商社も目指していましたが、ちょうど不況の
時代で、民間の就職先もあまりなかった一方、北海道
の将来性にかけてということもありました。

道庁も新卒は12～13人しかとっていませんでした。
学生課で相談したら「北海道志望？うらやましいね」
といわれ「それじゃ行ってみようか？」と決めました。

根谷崎：道庁では本庁以外の職場にもおられたので
すか？

辻副知事：最初は岩見沢に4年です。いったん本庁
にもどったあと、稚内に3年いました。就職した最初
の4月には一面の雪に迎えられました（笑）。

岩見沢は札幌から1時間ですが、稚内に行くのは半
日かかります。もっともちょうど離島ブームのころで
サハリンが見えたり、四季折々の景色が変わるので、
良いところでした。北海道は大きいので地域・地域で
違った風景に出会います。

そのあとはずっと本庁勤務で一時、苫東（トマトー、
国家プロジェクト「苫小牧東部開発計画」に基づく第
3セクター）の社長として2年間出向していました。
2013年4月に経済部長として本庁に戻り、2015年6
月から副知事を務めています。

根谷崎：日刊工業新聞の談話取材で「仲間の存在を
大事にしたい」とおっしゃっておられます。

辻副知事：こういう仕事は人との関係が大事なので、
私も道庁に長くおりますが、職員は大事にしたいと思
っております。職員一人一人はそれぞれの職場で頑張
っていますし、職員目線は大事にしています。

根谷崎：最後に同窓会に期待されることがおありで
しょうか？

辻副知事：大学名はもとに戻してほしいですね。大
学の名前こそが建学の精神・校風を作っていると思い
ます。私が道庁職員として関係する札幌医科大学も独
立法人化するときに関与しましたが、大学は大学の人
たちがどういう大学を作るのかを考えるのが大切で、
理事長や知事が作るものではありません。大学が大学
の目線で学生とともに作り上げるのだと思います。

かつての都立大学もそういう雰囲気があって、学生
課の職員も親切で優しくかったです。大きな大学ではな
かなかできないキメ細かさがあったように思います。
同窓会は若い人たちに昔の良さを伝えてほしいと思
います。それによって年齢を超えた広がりがあるのだと思
います。

根谷崎：本日はお忙しいところ、同窓会のインタビ
ューにお付き合いいただきましてありがとうございます。
（完）

◎第65回首都大学東京・大阪府立大学総合競技大会は勝利

第65回首都大学東京・大阪府立大学総合競技大会は7月7日(金)～7月9日(日)に南大沢キャンパスを主な会場として、期間内ポイント戦25種目、期間外ポイント戦2種目、合同練習1種目合計29種目で戦われ、16勝12敗2引き分けで首都大学東京が勝ち、昨年の雪辱を果たしました。第65回大会までの通算成績は、首都大学東京の27勝34敗3引き分け1中止です。



開会式エール交換、大阪府立大学から首都大学東京へのエール

開会式には大会会長の首都大学学長上野淳氏、大会副会長大阪府立大学学長辻洋氏をはじめ、両校の幹部教職員が出席、優勝旗返還、大阪府

立大学果たし状、首都大学東京果たし状、乾杯、記念Tシャツ紹介、選手宣誓、エール交換と進みました。最後に各部代表により、綱引きが行われ、開会式を盛り上げました。綱引きは首都大学東京が勝ち、幸先の良いスタートでした。

(第65回大会の各競技別勝敗表は、首都大学東京同窓会のホームページを参照、又は同窓会事務局にお問い合わせ下さい)

◎第36回首都大学東京・横浜市立大学定期戦は惜敗

6月4日(日)第36回首都大学東京・横浜市立大学定期戦が横浜市立大学金沢八景キャンパスにて開催されました。晴天のカラッとした暑さの中で熱戦が繰り広げられました。



多くの選手がトライの瞬間、ゴールキックもよく決まり79対0で圧勝しました

当日は9種目の競技が行われ、期間外に実施の6種目と合わせ、15種目の競技の成績は首都大の7勝8敗と1試合の差で負けました。敗戦は5年ぶりで通算成績は首都大の27勝5敗中止4で首都大が大きく勝ち越しています。第28回以降は接戦傾向になっています。首都大の勝利種目はゴルフ、バドミントン(男・女)、柔道、卓球(男)、ハンドボール、ラグビー、負け種目はアメフト、テニス(男)軟式野球、ヨットでした。

公立大学法人首都大学東京

第3期中期計画を策定

首都大学東京の第3期中期計画を3月に策定し公表されました。その概要は次の通りです。

- ◎ 第3期中期計画の方向性
- ◎ 国際通用性の高い教育の推進や仕組みの構築により、グローバル社会で活躍できる人材の育成を推進していきます
- ◎ 卓越した研究力を更に強化するとともに、複雑化する大都市課題などの解決に貢献するための分野横断的な研究を推進していきます
- ◎ 都の公立大学法人として、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への支援など東京の未来に貢献していきます

◎ 社会の要請に的確に応えるため戦略的な施策展開を支える法人運営基盤を強化していきます

◎ 教育 「本物の考える力」を身につける教育の進化

◎ 研究 卓越した研究への重点支援・研究拠点の形成、戦略的研究支援を行うための研究推進体制の充実

◎ 社会貢献 都民生活の質的向上へ向けた貢献

◎ グローバル化 学生の海外派遣、留学生受け入れの推進

◎ 国際通用性のある教育研究体制の整備

◎ 法人運営の取組

◎ 戦略的な法人経営を支える基盤強化等

◎ 社会的責任を果たすための体制の強化等

◎ 2大学1高専の連携の促進

◎ 平成30年4月に新たな時代の要請に応える組織体制に再編成します

◎ 編成のポイント

◎ 工学分野の再編・統合

◎ 都市政策科学分野を再構築

◎ 都市教養学部を4学部再編

◎ 大学院を再編

☆計画の中には、「卒業生、同窓会との連携強化による人的ネットワークの構築」がうたわれています。(詳細は http://jinmu.ac.jp/about/guideline/middle_plan.html を参照)

本学が誇る17の研究センター

本学の個々の研究水準は非常に高く、それぞれの分野で高い評価を受けています。本学では、これらの中から卓越した研究実績があり、国際的研究拠点につながるものを研究センターとして指定し、その活動を支援しています。現在設置されている17の研究センターは次の通りです。

- 宇宙理学研究センター
- センター長 大橋隆哉（理工学研究科教授）
- 生命情報研究センター
- センター長 田村浩一郎（理工学研究科教授）
- 人口光合成研究センター
- センター長 井上晴夫（都市環境科学研究科特任教授）
- 金の化学研究センター
- センター長 春田正毅（都市環境科学研究科教授）
- 言語の脳遺伝学研究センター
- センター長 本間 猛（人文科学研究所教授）
- 水道システム研究センター
- センター長 小泉 明（都市環境科学研究科特任教授）
- コミュニケーション・セントリック・システム研究センター
- センター長 山口 亨（システムデザイン研究科教授）

気候学国際研究センター

センター長 松本 淳（都市環境科学研究科教授）

ソーシャルビッグデータ研究センター

センター長 石川 博（システムデザイン研究科教授）

子ども・若者貧困研究センター

センター長 阿部 彩（人文科学研究所教授）

金融工学研究センター

センター長 室町幸雄（社会科学研究所教授）

水素エネルギー社会構築推進研究センター

センター長 金村聖志（都市環境科学研究科教授）

ナノ工学・メカノバイオロジー融合医工連携研究センター

センター長 藤江裕道（システムデザイン研究科教授）

超伝導理工学研究センター

センター長 堀田貴嗣（理工学研究科教授）

エネルギーインテグリティシステム研究センター

センター長 清水敏久（理工学研究科教授）

火山災害研究センター

センター長 鈴木毅彦（都市環境科学研究科教授）

地域共創科学研究センター

センター長 菊地俊夫（都市環境科学研究科教授）

第1回同窓会長特別表彰授与式

3月17日（金）午前10時から本部棟会議室において第1回目（通算9回）の「同窓会長特別表彰」の授与式が行われました。平成20年創設の「ファイティングスピリット賞」は、今年で第9回を迎えることになっていましたが、今年度から大学の主催している「スポーツ・文化活動賞」の中の同窓会長特別表彰部門と位置付けられ、名称を「同窓会長特別表彰」と呼ぶことになりました。

新しくなったスポーツ・文化活動賞の全体構成は、同窓会長特別表彰部門のほか「課外活動部門」と「学長特別表彰（貴賞）」の3部門になります。同窓会の主催する「同窓会長特別表彰部門」は、成果だけではなく、「この成果に至る努力」を評価する賞です。

「同窓会長特別表彰部門」には、12件の応募があり、2月に審査委員会を開催し、審査の結果次の3団体と1個人計4件に決定しました。

- 団体名・首都大学東京体育会軟式野球部（代表者・草刈洋樹）
- 申請テーマ・第37回東日本大学軟式野球選手権大会準優勝
- 理由・同好会から結果の求められる体育会の部に昇格したこと、しかも初めてのシーズンにもか

かわらず、他大学に比べ不利な条件を自分たちの力で工夫して克服し、立派な成績を残した。

個人名・甲賀真広
申請テーマ・日本 e-learning 学会において奨励賞を受賞したテレビ会議システムによる遠隔教育の試み。

理由・首都大学東京としての初めての試みであるテレビ会議システムの使った日本語教育授業の開発に取り組み、カリキュラムに仕上げた。これは今後の国際的展開に期待でき、大学の国際的知名度のアップにもつながることが期待できる。

団体名・首都大学東京鳥人間部 T-MIT（代表者・天目岳志）
申請テーマ・第39回鳥人間コンテスト2016タイムトライアル



挨拶をする黒石同窓会長と授賞者

部門準優勝。

理由…多数のメンバーにもかかわらず、一体となって複雑な作業を間違えず、しかも一カ月以上早めて完成させるなど、チームワークを良くとりながら良い成績を収めた。

団体名…CORE (代表者…真壁健二)
申請テーマ…小型ロケットの伊豆大島共同打上実験におけるタイプエス最優秀賞及び準優勝の受賞。
理由…毎年優秀な成果をあげていることと同時にメンバーが毎年入れ替わっているにもかかわらず、その水準を維持しているという組織としての継続性維持の努力を評価。

課外活動部門賞授賞団体

本年度より「スポーツ・文化活動賞が課外活動部門と同窓会長特別表彰部門の2部門に分けられました(前項参照)が課外活動部門の授賞団体は次の3団体でした。

団体名…文化部連合 人力飛行機 研究 MAPPL

授賞理由…「第39回鳥人間コンテスト2016」滑空機部門にて2位の成績を収めた。

団体名…文科系サークル35 (産後) サポネット in 荒川
授賞理由…育児サポルトボランティア活動が評価され、「東京都

共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」を受賞した。

団体名…体育会 応援団男子チアリーディング部 MAXONS
授賞理由…JAPAN OPEN Cheerleading Championship 2016男子チア部門において1位の成績を収めた。また、台湾やBリーグ公式戦のハーフタイムショーでも演技を行った。



第1回課外活動部門賞授賞団体

第5回プロジェクト奨励賞

授賞団体

第5回プロジェクト奨励賞の授賞式が8月16日(水)理事長室において行われました。今回は10団体・個人から応募があり、審査の結果、その中から次の4団体選ばれました。

団体名…首都大学東京学生フォーミュラプロジェクト (代表者…平井篤志 理工系機械工学コース4年)

応募テーマ…全日本フォーミュラ大会への出場に向けたフォーミュラカーの製作。

団体名…鳥人間部 TMIT (代表者…天目岳志 都市教養学科自然・文化ツーリズムコース3年)

応募テーマ…人力プロペラ飛行機の製作及び運用。

団体名…35 (産後) サポネット in 荒川 (代表者…宮崎千寛 健康福祉学部看護学科3年)

応募テーマ…社会貢献となる活動
団体名…TEXTIITS (代表者…伊藤健地 SD学部HMSコース4年)

応募テーマ…NHKロボコン2018に向けたロボット開発



プロジェクト奨励賞授与団体

2017年度前期一般入試の合格発表

3月8日(水)正午から南大沢キャンパスで平成29年度前期一般入試の合格発表が行われました。

大学のホームページでの合格発表が行われるようになってから、年々合格発表を見に来る受験生は少なくなってきましたが、それでも例年のように喜ぶ人、表情の硬い人などの情景が見られました。後期試験は3月12日(日)に行われ、発表は3月22日(水)でした。

2017年度前期後期を合わせた合格者の総数表は「本誌18頁」を参照)

川淵理事長のお別れセレモニー開催

南大沢キャンパスへの最終出勤日となった3月28日(火)、AV棟2階視聴覚教室において「理事長講話」その後学生による川淵理事長を送るセレモニーが「Acorn Cafe」で「大学広場モニメント前」で行われました。「Acorn Cafe」は、川淵理事長のご尽力で大講堂ホワイエに学生、教職員、近隣の皆さんの憩いの場として開設され、この程一周年を迎えた喫茶コーナーです。14時45分から約30分、上野学長以下幹部教職員、希望する教職員と学生に向けて

の講話がありました。講話の内容で次のような点が心に残っています。目標を関係の人に明言して、その目標に向かって突き進んでいく、有言実行であるべきと思っています。5年前には5割の学生が、2年前には2割の学生が、同窓生は殆どの方が大学名を変えて欲しいと言っていました。大学の評価は、同窓生の社会における評価で決まります。首都大学東京の評価が上がっていけば、現在の大学名で良いかもしれないが、「都立首都大学」としてはどうかとの考えを持っています。首都大学東京の東京は必要ないと思います。



川淵理事長を学生が困るのを助ける様子。定員264名の視聴覚教室は満員でした

☆建築都市コースの卒業設計展開催

建築都市コース卒業設計展が2月9日(木)～2月14日(火)の間国際交流会館ホールにおいて開催されました。作品は学部19点、修士7点が出展され、建築コースを目指す高校生を含め多くの来場者がありました。いずれも熱の入った力作ぞろいでレベルが高いとの評価が会場内で聞かれました。卒業設計作品の評価は、学内講評会と八雲審査会でおこなわれました。八雲審査会のメンバーは同窓生です。



建築都市設計コース卒業展の展示の一部

2017年度オープンキャンパス開催

2017年度の大学説明会(オー

プンキャンパス)が3キャンパスで開催されました。7月16日(日)南大沢キャンパス(全学部)を皮切りに8月19日(土)南大沢キャンパス(全学部)、7月29日(土)日野キャンパス(システムデザイン学部)、8月8日(火)荒川キャンパス(健康福祉学部)で開催され、2018年4月に学部・学科の再編があるためか、昨年度より多くの来場者がありました。



光の塔ホールで行われたシステムデザイン学部知能機会コースの第12回人工生物歩行コンテストは大人気でした

出張大学説明会を仙台市と静岡市で開催

東京都以外で初の大学説明会を仙台市と静岡市で開催しました。仙台会場は7月8日(土)仙都會館ビル(仙台市青葉区中央2-2-10)で、

静岡会場は7月9日(日)静岡県教育会館(静岡市葵区駿府町1-12)で開催、来年4月の学部・学科再編の概要、入試制度・結果の概要説明、就職状況、留学制度、再編後の各学部・学科の特色の説明が行われました。仙台会場は49名、静岡会場は79名と予想以上の来訪者があり盛況でした。

NHK学生ロボコン2017に初出場特別賞を受賞

6月11日(日)日野キャンパス所属のロボコン団体「TEXNITIS(テクニティス)」がNHKロボコン2017に初出場しました。残念ながら決勝トーナメントに進出することは出来ませんが、初出場な



NHKロボコンに初出場した本学のTEXNITISチーム



荒川キャンパス正門前で記念撮影をするカロリンスカの学生

から予選リーグで強豪校に対して1勝をあげるなど、その健闘振りを評価され、特別賞を受賞しました。

TEXNITISは、ロボコン出場を目的として、昨年10月に設立され、今年度団体登録を行った新設サークルです。三度の事前審査を通過し、出場校24校の一つに選出されました。

カロリンスカから9名の学生が
荒川キャンパスに来訪

荒川キャンパスでは、6月26日から7月28日まで、スウェーデンのカロリンスカ研究所より来日した9名の学生に対し受け入れプログラムを作成し、対応いたしました。

日本の理学療法現場や特別支援学校の見学、訪問看護、そして荒川



参加者集合写真(大楊センター長、清水教授、本学学生など)

区と本学部との共同開発である転倒による骨折予防のため作られた体操「荒川ころぼん体操」などを体験してもらいました。体操後は参加者の方々と交流し、日本とスウェーデンの医療費や福祉の違いなど様々なことを話し合いました。また、本学の学生もウエルカムパーティーでは積極的に英語で話しかけ、管弦楽や琴の生演奏等で歓迎しました。

タイのチェンマイ大学と
本学学生との文化交流

7月3日(月)国際交流会館にてチェンマイ大学語学センターとの文化交流を行いました。本学からは、国際センター長他教職員30名程度が

参加し、チェンマイ大学からはセンター長ほか教職員7名が来訪し、チェンマイ大学夏期短期研修に参加予定の本学学生に対し、事前オリエンテーションを行いました。オリエンテーションの後、タイの伝統舞踊の披露があり、また、タイに関するクイズを楽しむなど交流を深めました。

首都大学東京は「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション世界ランキング」にて国内総合11位にランクイン

2017年9月5日に公表された「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション世界ランキング」にて首都大学東京は780校ある日本の大学の中で、国内総合第11位にランクインしました(90校ある公立大学の中ではトップ)。

第32回青鳩祭・第13回みやこ祭

本年も恒例の青鳩祭が10月14日、15日、みやこ祭が11月2日、4日の間、賑々しく開催されました。

青鳩祭は「つなぐ」をスローガンとして開催、みやこ祭では、3日のホームカミングデーに講堂小ホールにおいてセレモニーが行われたほか、AV棟263番教室にて、同窓生の小松和彦氏による「研究は楽しい謎解き」私の妖怪研究史を語る」と言うテーマで講演がありました。

参加し、チェンマイ大学からはセンター長ほか教職員7名が来訪し、チェンマイ大学夏期短期研修に参加予定の本学学生に対し、事前オリエンテーションを行いました。オリエンテーションの後、タイの伝統舞踊の披露があり、また、タイに関するクイズを楽しむなど交流を深めました。

首都大学東京は「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション世界ランキング」にて国内総合11位にランクイン

2017年9月5日に公表された「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション世界ランキング」にて首都大学東京は780校ある日本の大学の中で、国内総合第11位にランクインしました(90校ある公立大学の中ではトップ)。

第32回青鳩祭・第13回みやこ祭

本年も恒例の青鳩祭が10月14日、15日、みやこ祭が11月2日、4日の間、賑々しく開催されました。

青鳩祭は「つなぐ」をスローガンとして開催、みやこ祭では、3日のホームカミングデーに講堂小ホールにおいてセレモニーが行われたほか、AV棟263番教室にて、同窓生の小松和彦氏による「研究は楽しい謎解き」私の妖怪研究史を語る」と言うテーマで講演がありました。

司法試験70校中9位で
合格率は26.96%

法科大学院修了者を対象とした2017年の司法試験の合格者を法務省が9月12日に発表した。

全体の合格率は25.86%で、首都大学東京は15名が受験し31名が合格した。法科大学院の応募が減少する中で、今年度は学生の募集を停止した大学が増加した。このような状況下で母校の受験者数は増加し、合格順位も昨年の16位から9位に上昇し慶賀の極みである。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	14	17	18	19	20	
大学院名	京都	一橋	東大	慶應義塾	大塚	神大	愛知	早稲田	首都大	中央	東北	北海道	名古屋	熊谷	鹿本	神大	創価	琉球	関西学院	
受験者数	222	121	271	317	162	142	13	347	115	455	69	118	118	25	15	5	67	31	88	98
合格者数	111	60	134	144	66	55	4	102	31	119	18	29	28	5	3	1	6	17	18	18
合格率(%)	50.00	49.59	49.49	45.43	40.74	38.73	30.77	29.39	26.96	26.15	26.09	24.58	23.73	20.00	20.00	20.00	19.40	19.35	19.32	18.37

○印は学生の募集を停止したか停止を公表した大学院(廃止を含む)
朝日新聞9月13日朝刊による

□ 大学事務局からのご報告 □

2017年度 入試合格者・入学者数 (入学者数は一般選抜の合格者数)

合計	健康福祉学部						システムデザイン学部						都市環境学部						都市教養学部						学部・学科・コース			
	システムデザイン学科						都市環境学科						理工学系						経営学系	法学系	人文・社会学系							
	小計	放射線学科	作業療法学科	理学療法学科	看護学	小計	インダストリアルコース	経営システムデザインコース	航空宇宙システム工学コース	情報通信システムコース	知能機械システムコース	小計	分子応用化学コース	建築都市コース	都市基盤環境コース	地理環境コース	小計	機械工学コース				電気電子工学コース	生命科学コース	化学コース		物理学コース	数理科学コース	
1,654	157	31	31	31	64	252	53	49	46	46	58	175	53	53	46	23	1,070	237	39	42	29	41	46	40	241	375	217	合格者
1,352	143	29	29	30	55	233	51	43	42	42	55	157	40	52	44	21	819	220	35	41	28	36	44	36	205	197	197	入学者

2017年4月1日付 首都大学東京名誉教授称号授与者

氏名	所 属	氏名	所 属
江原由美子	都市教養学部人文・社会学系 社会学コース	福地 一	システムデザイン学部 航空宇宙システム工学コース
大久保康明	都市教養学部人文・社会学系 国際文化コース	木下 正信	健康福祉学部 看護学科
福島富士男	都市教養学部人文・社会学系 国際文化コース	繁田 雅弘	健康福祉学部 作業療法学科
海老原 充	都市教養学部理工学系 化学コース	相山 長和	オープンユニバーシティ 経営・会計
真鍋 健一	都市教養学部理工学系 機械工学コース	米山 秀	オープンユニバーシティ 経営・会計
水沼 博	都市教養学部理工学系 機械工学コース		

2017年3月31日付で退職された教授・准教授

学部	学系等	コース	氏名	職位	学部	学系等	コース	氏名	職位
都市教養	人文社会	社会学	江原 由美子	教授	都市環境	システムデザイン	自然・文化・工学	小崎 隆	教授
		国際文化	伊藤 誓	教授			航空宇宙工学	福地 一	教授
		国際文化	カール・ループルター	教授			経営システム	飯村 清明	教授
	人文社会	国際文化	大久保 康明	教授	健康福祉		インダストリアル	笠原 信一	教授
		国際文化	福島 富士男	教授			看護学	飯村 直子	教授
		国際文化	千代島 雅	准教授			看護学	木下 正信	教授
都市環境	法学	法律学	徳本 広孝	教授	オープンユニバーシティ		作業療法	繁田 雅弘	教授
	理工学	機械工学	真鍋 健一	教授			放射線	大谷 浩樹	准教授
	理工学	機械工学	水沼 博	教授			経営・会計	相山 長和	教授
	都市基盤	都市基盤	稲貝 とよ	教授			経営・会計	米山 秀	教授
	建築都市	建築都市	権藤 智之	准教授					

2017年度(平成29年度)首都大学東京 教員免許状更新講習 開設結果報告

8月7日(月)~11日(金)まで、教員免許状更新講習を実施いたしました。

今年は、必修領域1講座、選択必修領域1講座、選択領域11講座を開設し、教員免許状を有する多くの方が東京都内外

から受講されました。

次年度も8月に講習を開設する予定です。卒業生で受講対象者になれる方は、是非、懐かしい母校で更新講習を受講してみませんか。

平成29年度 首都大学東京 教員免許状更新講習 開設結果報告

月日	曜日	領域区分	講習時間	講 座 名	受講者数/定員
8月7日	月	必修	6時間	【必修】教育の最新事情	48/50名
8月8日	火	選択必修	6時間	【選択必修】学校、家庭、地域の連携	37/50名
8月9日	水	選択1	6時間	【選択】授業でのICTとマルチメディアの活用	23/25名
		選択2	6時間	【選択】物理における最新の研究と物理の授業法	6/25名
		選択3	6時間	【選択】歴史学研究的現状と課題	5/25名
		選択4	6時間	【選択】多文化・多民族共生と教育	5/25名
8月10日	木	選択5	6時間	【選択】物質化学・科学分野における最新の研究と化学教育	8/25名
		選択6	6時間	【選択】部活動の現状と生涯にわたって役立つ価値を導くためのマネジメントとは	7/25名
		選択7	6時間	【選択】国際交流から考える中等教育・教師像	8/25名
8月11日	金	選択8	6時間	【選択】生徒の質問と対話によるアクティブラーニング：生物を中心に	9/25名
		選択9	6時間	【選択】最近の地理学	8/25名
		選択10	6時間	【選択】アクティブラーニングを取り入れた高校生物授業の進め方	9/25名
		選択11	6時間	【選択】ゲーム理論入門／数列の母関数と漸化式	8/25名

「コミュニケーションマーク」誕生

東京都が設置する都立の大学、「首都大学東京」。
世界は今、様々な転換期をむかえています。大都市東京は、こうした世界的な流れを読み取り、しっかりと未来に向かって解決を果たす使命を持っています。そうした東京都が設置する大学として、学問の力により様々な課題を解決し、社会や世界に貢献していく。都立の大学として与えられた大きなミッションです。

そうした本学で、能動的に互いに学び、研究し合う、高い志と誇りを持った仲間たちの姿を現した、私たちの新しい象徴である「コミュニケーションマーク」が誕生しました。

決定した「コミュニケーションマーク」と「スクールカラー」

コンセプト：自発の心が未来を拓く

コミュニケーションマーク

(シグネチャーとの組み合わせ)

(使用不可時は、DIC-F216も可)

CMYK: C85%, M55%, Y0%, K0%

RGB: R67, G102, B176

「Tokyo Metropolitan University」の「T」と上向きの「矢印」を、大学らしい伝統や格式を感じさせる図形に組み込み合わせたマークです。

上向きの矢印は、主体性を持って活動する学生、高い研究力と教育力を持つ教員、大学の基盤を支える職員、そ



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

首都大学東京

スクールカラー



特色：Pantone7455C

それぞれの「自発の心」を表現しています。また矢印を構成している2つの青は、学生同士や教職員同士、あるいは学生と教職員の関係を表しており、互いに近い距離で高め合うことが、独自の教育の質に結びついていることを意味します。

スクールカラーは、落ち着いたあるブルーを使用します。ブルーは都立の大学としての信頼感と、研究力の高さによる先進性を表します。

使用できる者と使用範囲

詳細は、大学ホームページ、首都大学東京管理部企画広報課広報係までお問合せください。

注：マークのカラープリントは本誌の裏表紙をごらんください。

教育改革推進事業：

東京の魅力の多言語発信を通して

本年度から全学的に展開されている取組『同窓生－留学生との協働による「東京の魅力」の多言語発信』を紹介いたします。現在は正課外の教育プログラムとして実施されていますが、将来的には新規科目の開設も視野に入れたパイロット企画です。

首都大の第3期中期計画（2017－22年）には、教育改革の重点目標として「豊かな教養・高度な専門性と社会への対応能力を備えた国際的にも通用する人材の育成、分野横断的な学び、カリキュラムの再構築などが謳われています。「教育改革推進事業」はこの目標に沿った取組および独自の特徴ある教育の取組を支援し教育改革をさらに促進する目的で提案公募されたものです。

全学部生が対象の本取組の概要は以下のとおりです。学生は自ら手を挙げ、同窓生と留学生を加えたチームの協働作業により目標（成果物）を完成させるプロセスを実体験していきます。まず、学生は一人ないし数人のグループで「外国人に訴える東京の魅力」をひとつ決め、同窓生のアドバイスを受け、あるいは一緒に文献や現地調査などを行い、日本語の解説（A4版1枚程度）を作成します。次に、これを様々な母国語をもつ留学生の協力を得て多言語化するということです。「東京の魅力

は訪日外国人が魅力と捉えると考えられるものを学生が独自に選びます。現在、「都市建築・防災」「立川漫画パーク」「高尾山」「国立博物館」「御蔵島と海」「日原鍾乳洞」「八丈太鼓」など多彩なテーマで進行中です。テーマごとに担当教員が、専門的視点から指導・助言しますが、あくまで学生の主体的活動を支援します。このプログラムを通して学生は、能動的な学びの楽しさとその意義を実感するとともに、社会との関わりを通して生きる力、社会人・国際人としての力を身につけていくことが期待されています。

この取組の大きな特徴は、同窓生が学生教育に直接関わる仕組みを取り入れたことです。テーマごとに適材適所の同窓生選出、連絡調整、協働作業の管理はNPO法人MeCに実行してもらっています。同窓生には、これまでも寄付講義「日本の産業と企業」を始め、「学生との交流会」「キャリア相談」「模擬患者ボランティア」などで学生教育に関わって頂いています。実社会に柔軟に適応し逞しく生きていく力を涵養する上で、学生と社会とのもっとも身近な接点である同窓生に各界での多様な活躍を背景に学生達と直接関わって頂くことは学生教育にとって非常に有効で有意義なことと考えます。多々ご協力をお願いすることがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

事業取組代表者 黒川 信

(理工学系生命科学コース・同窓会副会長・28期生物)

支部だより

□北海道支部

北海道支部第13回定時総会報告

これまでも各地の支部で開催される総会にはかならず会長か副会長が出席していましたが、2016年度から本部同窓会（理事会）の広報委員も随時支部総会（懇親会が設定されている場合は懇親会を含めて）に出席し「広報委員のみた支部の活躍ぶり」を会報やホームページで全国の会員に発信することになりました。予算の都合上すべての支部の総会に毎年お伺いすることは叶いませんが、できるだけ多くの支部の会合に出かけてまいります。第1回目は北海道支部総会の模様をお知らせします。

北海道支部の今年度総会は2016年11月19日（土）17時30分より、KKR札幌2階・はまなすの間で開催されました。

北海道支部の歴史は都立大学時代にはじまります。今回総会で配布された資料によれば、第1回総会は1995年に開催され、49人の出席者があったことが記載されています。それ以来、大学合併を挟んで今回まで1度も休むことなく、毎年総会が開催されています。

2005年開催の総会は、大学統合に伴い旧都立大の第11回八雲会北海道支部総会と同時に首都大学北海



星野新支部長による乾杯

道支部設立総会を兼ねた第1回総会となり、今回が第13回目（八雲会時代から数えて24回目）となります。八雲会支部の最終総会第11回と首都大学支部の第1回総会は同時開催ですので、開催回数は23回となります。

今回は28人の支部会員が参加され、本部から参加した林副会長と根谷崎広報委員を加えて、30人の参加者がありました。全道にはこの10倍程度の支部会員がいるようですが、広いエリアを有する支部なので遠隔地の支部会員の参加は難しいようです。

総会は松田副支部長の開会宣言に続いて林同窓会本部副会長のあいさつで始まり、笠田支部長による活動報告、会計報告、役員改選と型どお

りすすみ、次期会長に星野高志氏を選出し、懇親会に移りました。

文責：根谷崎武彦



若手支部会員の紹介

□関西支部

関西支部の集い

第24回目的「関西支部の集い」は、6月10日（土）に大阪市中央区備後町の重要文化財「日本綿業会館」において、本部から黒石 輯同窓会会長（法経・経済 14期卒）、大学から上野 淳学長（工・建築 19期卒）をお迎えし、26名の参加により開催いたしました。

「関西支部の集い」は、松見関西支部副会長（法経・経済 12期卒）

の司会進行で関西支部 梅村会長の「工・機械工 10期卒」の挨拶に続き、ご来賓の黒石 輯同窓会会長から近年の同窓会事情をご挨拶に合わせしてお話しいただきました。続いて、首都大学東京 上野 淳学長から首都大学東京の目指すもの・研究方針及び次年度からの学部再編等についてお話しいただきました。その後乾杯を行い、ひとときの宴と歓談の後、支部総会を行いました。総会議題は収支決算報告が事務局長 根津から報告され、全会一致で承認されました。その後、芦沢副会長から関西支部の規約の制定について提案がなされ、規約案について審議し全会一致で承認をいただきました。また、梅村会長から任期2年の退任について動議がなされ、動議を審議と上程することに承認がなされ、新会長に規約に基づき任期2年において、松見副会長が関西支部会長として就任することと承認されました。

恒例のスピーチは参加者全員から、司会の松見副会長が初参加の方を中心にスピーチを求め、会員の皆様の趣味や仕事の話に触れることにより、初めての参加者もそれぞれの会員の人となりを知ることができ今後につながるものになったことと思えます。

この度の「集い」は参加者が減少し寂しい開催になるかと心配しておりましたが、少ない参加者であるた

めかお互いにゆっくり会話をする機会を持って、とても親睦の深まる機会となりました。同窓会会長や学長とも忌憚のない会話ができて、本部や大学とも、より一層の親近感が湧き、関西支部として同胞の会の親睦感が強くなることになりました。このつながりを広げてゆくことが支部の務めであると感じております。

関西支部の会員は名簿記載人数916名となり、規模の大きな同窓会支部になります。今後もこの支部活動を維持発展させていきたいと考えています。しかし、葉書やメールにおいて「関西支部の集い」開催の連絡に対して返信すらなき方が多く、意思確認すら苦慮するところでした。また、若い卒業生の方や都立大以外の卒業生の参加を会の存続のためにも望んでいます。ご参加いただき、世代を超えた「つながり」を深めたいと思っておりますのでご気軽にお越しください。関西在住の皆様、来年も初夏には「関西支部の集い」を幹事一同、企画を凝らして、開催いたしますので、是非参加を予定して下さい。

文責・事務局長・根津嗣郎
連絡先

Email: neznu202@sage.ocn.ne.jp

関西支部 新 幹事・役員一覧
会 長 松見 豊和 都12・経済
副会長 芦沢 清隆 都17・建築
事務局長 根津 嗣郎 都32・建築
幹 事 大内 恵子 都14・英文

幹 事 船川 和夫 都18・化学
幹 事 小林 治 都26・数学
幹 事 山井 愛樹 都37・地理
幹 事 塩見 吉伸 都48・土木
幹 事 野本 博資 都51・経済



□ 東北支部

東北支部有志懇親会

去る6月10日の土曜日、東北支部の有志懇親会が仙台の居酒屋で開かれました。今回は17名の方が参加。大学と同窓会からお二人が出席され総勢19名、楽しい一日でした。

東北支部は以前、東北在住者全員にご案内を差し上げていましたが、分母の会員が増えていくのと反比例

で分子の出席者はだんだん減少していき、2011年の東日本大震災の前から活動を休止していました。しかし、何人かの方からやはりたまには集まりましょうとの呼びかけがあり、一昨年から再開したものです。ということですが今年が再開後3回目になります。

以前の反省を踏まえ、今回も昨年同様東北在住者全員に呼びかけることはせず、宮城県在住の方と以前出席されたことのある他県在住の方、その中でなおかつメールアドレスがわかっている方55人にEメールで呼びかけました。その結果宮城県以外出席者はお一人だけでしたが、まったく初めて出席される方が4名、首都大学東京卒業の若い方も3人いて、ずっと事務局をしている私(都立大20回生、法学部)も、以前は出席者名簿の中ごろに位置していましたが、今回はかなり上に昇格し、若い人が増えるのはいいことだなと思う反面、自分も年をとったなと実感させられました。

当日は大学から西村和夫先生(理事・学長特任補佐)、同窓会から林正弘副会長がおいでになり、神山洋支部長(都立大5回生、工学部土木科)の乾杯の後お二人から大学、同窓会の現状についてお話しいただきました。その中で大学の都市教養学部を人文社会学部、法学部、経済経営学部再編するということが、大

学のコミュニケーションマークを新しく制定するというお話に大変興味を持ちました。ロゴマークはなかなか素敵でした。

その後、皆さんの自己紹介、懇談と続きましたが、こちらの不手際で会場の時間が2時間しかとれず、皆さんには大変申し訳ありませんでした。しかし、話は随分と盛り上がりました。時間が足りないと多くの人が感じたようで、2次会もまた盛況でした。

今回出席された方はリタイア組が4人、現役組が13人で、その職種は本当に多彩です。この同窓会は皆さん同じ大学に在籍したという共通の体験がありますから、毎回すぐ打ち解けて懐かしい話に花が咲きます。そしてそれだけではなく、この会を通していろいろな方とネットワークをこれまでも築くことができたなと思っております。小さい大学ですけれども、逆にそれ故に強固なネットワークができるのでしよう。お互い利用し、利用されるということが必要だと思えます。仕事上や仕事以外のことででもネットワークはとても大きな財産です。私のようなリタイア組でも、普段とは違った方と話をするのは脳が活性化する気がします。これから八雲会もリタイア組がどんどん増えていくでしょう。そういう方も是非ご出席ください。若い方は若い方なりに、年寄りも年寄りなりに楽

しい集まりですから。

こんなに大人数で楽しかったらまた来年以降も継続していきたいと思えます。しかし手間暇のことを考えれば今後も宮城県在住の方、そしてメールアドレスがわかっている方と呼びかけをしようと思います。宮城県以外の東北の方で来年は出席してみようかな、どうしようかなと考への方がいらっしやいましたら私の下記のメールアドレスにご連絡ください。ご案内を差し上げます。そしてこの楽しい集まりに是非参加してください。来年お会いしましょう。

事務局 庄子友康(都20・法・政治)
sho-app001@nifty.com



第44回及び

第45回埼玉八雲会研修会

埼玉八雲会は埼玉県在住の同窓生の研修と異業種交流、懇親の場として24年前に設立され、以来毎年春秋の2回会合を重ねてきました。第44回の研修会が平成28年11月25日にさいたま市のさいたま共済会館で行われました。講師は昭和44年経済卒で、近畿日本ツーリストOBの宮崎修治氏でした。同氏の話では、現在、日本を訪れる海外からの観光客は2000万人近くになって、観光立国の成果が出たように考えるが、観光客の受け入れ数で国別のランクを見ると、フランスが8400万人と世界第一位であり、次はアメリカで7600万人とのことです。日本の2000万人というのは世界で16位であり、まだまだ日本は努力すべきであることが分かりました。また、アメリカの大手旅行会社が選んだ世界の魅力的な都市のランキングでは、日本の京都が第一位であり、第二位はアメリカのチャールストンで、10位までには、日本の他の都市が入っていないのは残念に思いました。次に第45回の埼玉八雲会は、平成29年6月23日に埼玉会館で行われました。

当日は県政出前講座で掲げられているテーマのうち、「行財政改革の取組」について、埼玉県庁企画財政部

の改革推進担当の方および医療整備課2人、国際課グローバル人材育成担当の計4名の方々から話を伺いました。

この中で特に印象に残ったのは、救急医療体制について、今までは救急車には、受け入れ病院のリストは現状は紙ベースであるが、徐々にタブレットとスマートフォンに切り替え、患者の自宅に着いてから、受け入れ病院を探す手順が大きく改善しつつある。

次に、グローバル人材の育成について、県として10億円を拠出して、県立高校生徒を海外の大学に派遣する支援をしているとのことでした。この研修会に興味がある方はお気軽に下記にメールでご連絡ください。

文責：佐伯 公(都14期・経済)
isaeki@orange.plala.or.jp



第1回多摩みやこ会を開催

東京の多摩市内とその周辺には、都立大学、科学技術大学、保健科学大学および首都大学東京の卒業生が多数住んでおられます。その中にはお仕事や地域活動で活躍されている方々もおられます。せっかくの同窓の縁を活かさないのはモッタイナイです。

そこで、相互の親睦を図るという趣旨で、多摩市在住者を中心とする都立の大学同窓生の集いを実施しようと、同窓会の黒川信副会長をはじめとした多摩市在住の同窓会役員が中心になって実行委員会をつくりました。同窓会事務局の多大なご協力を得て、6月17日(土)に第1回多摩みやこ会をコロシア多摩センターにて開催しました。

当日は18名の参加があり、多摩市にお住まいである上野淳学長にもご出席賜り、首都大学東京の今についてお話し頂きました。

また、同窓生3人から、「多摩センターで子育て」(永山菜見子氏・都立大法)、「多摩市への地域デビュー」から25年、活動の軌跡と今後の展望」(戸辺文博氏・都立大工)、「研究を地域に開くたまろん展」(北島彩子氏・首都大院)と、話題提供して頂きました。その後、出席者全員で自己紹介しました。食事会というスタイルでしたが、盛会のうちに幕

を閉じました。

同窓生の情報が乏しいという制約の中で、参加者は都立大学卒業生が中心となりましたが、都立の大学同窓生の集いとして、また、多摩市に限定せず、首都大学東京周辺地域の同窓会となることを目指しています。多摩みやこ会は、南大沢キャンパスの学園祭から会の名称を決めました。また、まだ会合の段階で、会則や組織体制もありません。それでもFacebookグループ「多摩みやこ会」を立ち上げました。来年には第2回を開催する計画です。Facebookのアドレスは次のとおりです。

<https://www.facebook.com/groups/famamiyakokai/>

首都大学東京（南大沢）周辺に住まいの同窓生で、ご興味のある方は、お気軽に左記アドレス宛、メールにてご連絡ください。

文責：大平晃司（都23期・法・政治）
dongingduohira@nifty.ne.jp



中央線豊田駅で大学の電光看板を発見しました

「表紙のことば」

チエスキー・クルム口フ城
小又富士夫（都11期・理・数学）
公園から見たチエスキークルム口フ城です。学生時代はヨット部、数学科と言った方が良いでしょう。ヨット部の活動に熱心でした。

日本電気に就職し最先端のコンピュータのシステムズエンジニアとして活動し、2004年日本電気を離れ、好きである絵の世界に入り今年で9回スケッチを目的とした旅行に夫婦で参加しヨーロッパに一度出掛けています。

2010年のチエコのチエスキー・クルム口フと2013年のスペインのアルバラシンの2点を再度描き直し、第35回八雲会展に展示しました。過去に出掛けたイタリア、フランス、スイス、イギリス、スペインの中でチエコが一番印象的でした。私のHPをご覧ください。

<http://www.fujikomata.com/>
ごち。



八雲クラブで会いましょう

丑山佐千男（都22期・政治）

渋谷駅から徒歩5分、東急ハンズの裏側の渋谷ニューコーポラスに「八雲クラブ」があります。施設は40名収容可能なメインルーム（10階）と10名収容可能なサブルーム（11階）。運営は首都大学東京同窓会・八雲クラブ委員会が担当しています。現在約300名の「会員」が利用中です。毎月第二水曜日には、「八雲サロン」（本年11月で連続377回目）が開かれ、会員でなくても、自由に参加ができます。（参加費2千円）

毎月の八雲サロンに加えて、昨年2月からは、隔月第4水曜日に、「行くところがある」「会う人がいる」をコンセプトに、「八雲カフェバー」を開いています。どなたでも参加自由。好きな時間においでいただき、お帰りの自由。どなたでも歓迎です。集まった方々がまず顔見知りになって団欒と情報の交換が出来る場所をめざしています。カクテルサービス（美酒倶楽部）、ギターライブ、本格カレーパーティ、同窓生落語家によるミニ寄席など毎回テーマをもったアルコール付の自由なサロンです。（参加費会員無料・会員外500円）

2017年に開催された八雲サロンとゲストは、1月は新年会。カクテルパーティと根谷崎武彦氏の写真

展「欧州浪漫紀行」。2月以降は「自分でできる筋膜リリース」（竹井仁・首都大教授）、「お役所の水道事業から海外水ビジネスへ」（松井庸司氏・都28・経済）、「紙の教科書が消える？」（内田宏壽氏・都25・経済）、「自由な創造力とコミュニケーション力を活かすモノづくり新事業創出」（須藤理枝子・都44・化学）、「口腔ケアでイキイキ生活」（田野ルミ・首都大・院）など。また、6月には、学生の就職活動支援の特別イベント「現役交流土曜サロン」を開催。「先輩・後輩をつなぐ異業種交流会」で盛り上がりました。

八雲クラブの詳しい紹介と入会方法、八雲サロンの予告などは、首都大学東京同窓会ホームページに載っています。渋谷の1等地へぜひいっしょにお出かけください。八雲クラブで、新しい出会いが得られることを願っております。



八雲サロン風景
(374回「口腔ケア」がテーマ)

2017年 同窓会寄付講義

毎年、「産業と企業」のテーマのもとに開講されている同窓会寄付講義は、昨年度(2016年度後期)は、約180名の学生が登録しました。

講義全体を通じて、「様々な分野の先輩から話が聞け、幅広い教養としての知識が得られた」といった高い評価だったようです。また、講師の方々のご尽力により、学生から「大変面白く、興味が持てた」「知識がなくてもわかりやすい」といった評価も多かったと聞いています。

今年度も、昨年度と同様に、学生には1千字程度のレポートの提出が課せられています。

受講生には、この講義の特色を生かして将来の勉学に役立てていただくことを期待したいと思います。

実施に当たっては、八雲同友会とNPO法人MeC及び同窓会の榎本副会長の協力により、OBの方の中から会社経営に豊富な経験を持ち、産業の発展に貢献した方、あるいは、ご自分が関わってこられた事業の話など、以下の方々に講師を委託しました。

今年の講義では、現役の講師の方が大幅に増えました。現在行っておられる仕事についてお話が伺えると思いますので、学生にとって一層親しみやすいものになると思います。

同窓生の皆さまも、ご遠慮なく講義を聴きにおいでください。

講義は6号館110番教室で、3時限

(午後1時)開講です。

なお、講師についてご推薦いただける方、ご意見ご希望がございましたら、事務局までご一報ください。

第1部

2017年10月12日(木)

徳岡 浩 (生命保険業)

(都25期・人文・社会学)

明治安田生命システム・テクノロジ(株) 代表取締役社長

「生命保険の現状と課題」

2017年10月19日(木)

八木 隆 (機械製造業)

(都25期・工・機械工学)

アイダエンジニアリング(株)常務理事 前取締役常務執行役員

(株)アクセス代表取締役社長

「成形システムビルダとしてグローバル競争に打ち勝つための技術経営」

2017年10月26日(木)

小柳 淳 (運輸業)

(都29期・法学・法学)

(株)ホテル小田急代表取締役社長

(株)ホテル小田急サザンタワー代表取締役社長

「小田急グループの観光施策とインバウンド開発」

2017年11月9日(木)

鈴木 貞二 (非鉄金属 製造業)

(都27期・工・電気工学)

(株)フジクラ常務執行役員エンジニア

リング事業部長

「電力・通信インフラビジネスのグローバル戦略」

2017年11月16日(木)

吉田 徹 (化学工業)

(都29期・経済・経済学)

(株)クレハ常勤監査役 前執行役員経理センター長

「日本の化学工業とグローバル化」

2017年11月23日(木)

松本 公一 (特許事務所 弁理士)

(科技大5期・工・機械システム工学)

特許業務法人むつきパートナーズ

「身近にある知的財産(自分には関係ないやと思いませんか?)」

第2部

2017年11月30日(木)

内田 宏壽 (書籍販売業)

(都25期・経済・経済学)

(株)東京書籍常務取締役ICT事業本部長 兼 出版事業本部長

「出版業界のグローバル化と第四次産業革命」

2017年12月7日(木)

野波 健蔵 (ドローン開発及び販売)

(都22期・院工・機械工学・工博)

(株)自律制御システム研究所代表取締役CEO

「科学を社会のために、そして、空の産業革命(ドローン)が社会を変える」

2017年12月14日(木)

末岡 真純 (建設業)

(都22期・工・土木工学・工博)

(株)ネクスコ・エンジニアリング東北社長 元道路公団東北支社長

「レガシーとなるか変貌する高速道路 その課題と将来展望」

2017年12月21日(木)

植村 仁 (民鉄・不動産)

(都30期・法・法学)

東急不動産(株)代表取締役副会長 「東急不動産の挑戦―街づくりと海外進出―」

2018年1月11日(木)

河野 純子 (教育産業)

(都34期・人文・心理学)

前(株)住友商事教育事業部チーム長 元トラバユ編集長

「My Career Story(自分らしい仕事の見つけ方、キャリアの築き方)」

2018年1月18日(木)

白石 紀子 (航空宇宙研究開発)

(科技大11期・工・航空宇宙システム工学)

JAXA(宇宙航空研究開発機構) 「日本の技術で宇宙へ、日本のrocket開発」(仮題)

■ 同窓会事務局からのお知らせ ■

□メルマガ始めました□

この9月よりメルマガジン（メルマガ）を始めました。
とりあえずは、理事を対象にスタートし、対象を順次拡大していく予定です。どうぞご覧ください。

関連して、お願いです。
メールアドレスをお持ちの方は、ぜひ事務局までお知らせください。より多くのメールアドレスが集まらなければ、導入の意味がありません。ニュースを広報委員または事務局までどうかお寄せください。お待ちしております。

□会費の払い込みと住所・勤務先等の変更届のお願い□

維持会費は、同窓会活動にとって極めて重要な財源です。

様々な活動の基になる同窓会名簿の管理、現役学生への支援、会報の発行、それ以外の行事を実施する際の資金源となります。いわば同窓会の基本的な活動の財政基盤ともいえるものですが、残念ながら、納入状況は大変悪い状況です。

来年度から学部学科も大きく変わります。同窓会活動も一層充実した活動が求められます。そのためには安定した財政基盤が必要不可欠です。ぜひ会費の納入をお願いいたします。維持会費は、年額3千円です。なお、終身会費制度もあり、3万円納

めていただきますと、以後年会費は納入不要になります。

会費につきましては、本会報に同封いたしました、「払込取扱票」（赤色で印刷された用紙）により納入をお願いいたします。払い込みは「郵便局」または「コンビニ」をご利用ください。なお、利用可能なコンビニは、払込取扱票の裏面に記載されています。

「住所等変更届」は、変更があった都度、変更項目を明示のうえ、同封の「住所等変更届」の該当欄の各項目を記載し、ファックスまたは郵便でご一報ください。お手元に「変更届」がない場合は、メールでご連絡いただいてもかまいません。

とくに住所につきましては、一度途切れてしまいますと、会報等のお届けができなくなるのみならず、同窓会との関係も以後途絶えてしまいます。お手数ですが、ぜひご協力をお願いいたします。

□海外在住中または今後海外へ転勤等で在住されることになった方へ□

・同窓会報の送付について

現在、残念ながら財政上の理由により、海外への会報の送付はいたしておりませんが、同窓会のHPに会報をアップしておりますので、海外在住の方（あるいは今後在住されることになった方）は、恐縮ですが、

そちらからご覧いただきたいと存じます。なお、ご希望の方には留守宅等の国内の住所にお送りいたします。

・海外同窓会のご連絡のお願い

首都大学東京同窓会の会員は、広く世界の各都市に在住しておられます。とくに、主要都市においてはかなりの方が在住されているとお聞きしています。そのような都市においては、同窓生同士の会がもたれているのではないかと推測いたします。つきましては、各地の同窓会の情報を同窓会事務局までお知らせください。

今後、会報やHPに積極的に取り上げていきたいと考えております。昨年、「シンガポール都立大・首都大学同窓会」の会合の様子が、HPや会報に掲載されるとともに、規約に定める各種同窓会に登録されました。それを見られた首都大学東京当局の方から、現地政府関係機関の幹部をシンガポール同窓会に紹介したいとの連絡があったというケースが生まれています。このように情報をいただき、それを発信することによってさらに新たなつながりができるといった循環が生まれることを期待しています。

現在、シンガポールの動きが波及して、マレーシアでも同窓会立ち上げの動きが出ており、同地在住者の情報を求めておられます。マレーシアに在住の方、あるいは在住者をご存知の方、ぜひご連絡をお願いします。

大きく育てていきたいものです。

連絡先

首都大学東京同窓会事務局
〒192-0364 八王子市南大沢1-1 首都大学東京内

電話：042-670-7702

FAX：042-670-2894

Email: tmu-al@tmu.ac.jp

担当：松浦・近藤

（参考）

首都大学東京同窓会規約抄

（会員の責務）

第6条 会員は、本会の事業に積極的に参加し、会費等の納入を果たし、住所・氏名及び勤務先の変更があったときは、速やかに変更事項を本会事務局に届け出るものとする。

（入会金）

第7条 本会の入会金は、2万円とし、大学の学部又は大学院に入学したときに納付するものとする。

（会費）

第8条 本会の会費年額は、次のとおりとする。

1. 正会員 3千円 ただし、3万円を一括納付することにより以後年会費を納付することなく、終身会員とすることが出来る。
2. 特別会員 正会員に準ずる。
3. 賛助会員 一口5万円
4. 名誉会員 納付を要しない。

（入会金・会費の不返還）

第9条 既納入会金、会費及びその

他の拠出金は、これを返還しないものとする。

□会員の皆様へ□

(会費納入状況欄)のご説明

会費と一緒に送っている「年会費納入状況」欄についてご説明します。同封の赤色印刷の「会員の皆様へ」をご覧ください。

維持会費の払い込みは、郵便局だけでなくコンビニでもできます。

(1) 同窓会の年会費の納入状況は、年度(4月～3月)により管理しています。

会報は、5月と11月の年2回発行しており、その際、「会員の皆様へ」と払込票を同封いたしておりますので、それをご利用ください。

(2) 納入状況の表示について納入状況については、お支払いいただいた方には、「納入状況」欄に年度ごとに「納入済」(終身会費を納入された方は、「納入不要」を印字しています。なお、納入状況は、毎年度3月31日現在及び9月30日現在で記載しております。

(3) 次期以降2期以上の維持会費をお支払いいただいた方には、当同窓会の会員管理台帳上では、「預り金」として、従来と同様管理いたします。

(5) 同一年度内に重複(2回)して払込された方については、当年度を含めて4年以内に未納の年度がある場合には、その年度に充当させて

いただいております。また、未納がない場合には、「預り金」として管理し、次年度になった時に、当年度分として入金処理させていただきます。

(6) 「個人情報保護」の観点から、払込票には、住所を記載しておりません。*****で表示しております。

□寄付のお願い□

平成23年から始まった新しい寄付制度は、制度創設以来、これまで、延べ3400名に近い皆様から、二千万円を超えるご寄付をいただき、同窓会の財政安定の大きな力になりました。

大変ありがたく、感謝申し上げます。第13期におきましても、600名を超える皆様方のご協力いただき、感謝いたしております。

前に述べましたように、本同窓会は、会費収入が少ないことから、財政的にはきびしい状況にあります。寄付金収入は、それを補うという点でも大きな役割を果たしております。

しかし残念ながら、翌年度への繰越金が減少傾向にあります。

第9期は、5,932千円、
第10期5,774千円、
第11期3,834千円(10か月予算)
第12期4,160千円、
第13期はやや持ち直して4,896千円となりましたが、趨勢的には、減少傾向にあります。
会員のなかには、何度も寄付して

くださる方も多くいらっしゃいます。大変ありがたいことですが、できましたら、より広い皆様からのご支援をお願いする次第です。

□褒章などを受賞された会員を ご存知の方は、ご連絡ください□

褒章などを受賞される会員は毎年かなりいらっしゃいます。会報の紙面でお祝いを申し上げたいと考えますが、同窓会ではなかなか把握できません。情報をご存知の方はぜひご一報ください。

□同窓会行事報告と予定□

2017年

8月16日(水) 第5回プロジェクト
ト奨励賞授与式

8月23日(水) 第92回理事会

8月29日(火) 会計監査

9月21日(水) 第93回理事会

9月27日(火) 平成29年度成績優秀者表彰式

10月12日(木) 寄付講義

(以後2018年1月19日(木)
まで12回開講)

10月14日(土) 15日(日) 荒川
キャンパス大学祭(第32回青鳩祭)

10月21日(土) 第14回評議員会
(日野キャンパス)

11月2日(木) 3日(金) 南大
沢キャンパス大学祭(第13回み
よこ祭)

11月3日(金・文化の日) ホーム

(カミングデー(大学との共催)
南大沢キャンパス

記念講演会・同窓会第14回総
会・寄付講義10周年式典・交流
会 南大沢キャンパス

11月16日(水) 第94回理事会

2018年

1月17日(水) 第95回理事会

3月28日(水) 第96回理事会

3月下旬 スポーツ・文化活動賞
授与式

5月16日(水) 第97回理事会

7月6日(金) 7日(日) 対大
阪府大戦

7月18日(水) 第98回理事会

7月下旬 プロジェクト奨励賞の
授与(第6回)

7月18日(水) 第98回理事会

7月下旬 プロジェクト奨励賞の
授与(第6回)

7月18日(水) 第98回理事会

7月下旬 プロジェクト奨励賞の
授与(第6回)

7月18日(水) 第98回理事会

7月下旬 プロジェクト奨励賞の
授与(第6回)

7月18日(水) 第98回理事会

7月下旬 プロジェクト奨励賞の
授与(第6回)

7月18日(水) 第98回理事会

7月下旬 プロジェクト奨励賞の
授与(第6回)

7月18日(水) 第98回理事会

7月下旬 プロジェクト奨励賞の
授与(第6回)

7月18日(水) 第98回理事会

7月下旬 プロジェクト奨励賞の
授与(第6回)

7月18日(水) 第98回理事会

7月下旬 プロジェクト奨励賞の
授与(第6回)

7月18日(水) 第98回理事会

7月下旬 プロジェクト奨励賞の
授与(第6回)

7月18日(水) 第98回理事会

7月下旬 プロジェクト奨励賞の
授与(第6回)

7月18日(水) 第98回理事会

7月下旬 プロジェクト奨励賞の
授与(第6回)

□同窓会の学生への支援□

(1) スポーツ・文化活動賞同窓会長特別表彰

(これまでのファイティングスピリット賞と大学のスポーツ文化活動賞を統合したもの)

2017年3月17日4団体・個人に対して授与

(2) 課外活動への支援

●大学祭実行委員会等(60万円)
第31回青鳩祭(荒川キャンパス)
2017年10月14日～15日
第13回みやこ祭(南大沢キャンパス)
2017年11月2日～4日

●対大阪府立大学総合競技大会(第65回)

2017年7月7日(金)～9日(日)
南大沢キャンパスを中心に開催
首都大学東京16勝12敗で勝利
(通算27勝34敗3引き分け1中止)

(3) 体育会本部(60万円)
プロジェクト奨励賞

2017年8月16日

(4) 4団体に助成金を交付(50万円)
大学との共催

スポーツ・文化活動賞課外活動部門
2017年3月17日

3団体・個人に対して9万円を副賞として贈呈

就職活動への支援

OBによる就職活動相談

3名の同窓生を派遣

同窓生就職先名簿の閲覧(同窓会事務局)

□事務局人事のお知らせ□

同窓会事務局次長の杉村哲雄氏(都12期・法経・法学)は、9月30日をもって退職され、後任には10月1日をもって近藤泰幹(やすよし)氏(都9期・法経・経済)が就任されました。杉村氏は、平成16年8月に就任され、以来13年2か月にわたり同窓会に貢献されました。ここに深く謝意を表します。

ご逝去のお知らせ

元東京都立大学総長(第7代)

下山 瑛二先生

におかれましては、平成29年8月30日(木)、ご逝去されました。心より哀悼の意を表するとともに、謹んでお知らせいたします。

同窓会会員からの一言

広報委員会宛に寄せられた会員の皆様の会報の読後感をご報告し、今後の力にしたいと考えております。会員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見をぜひお寄せ下さいますようお願いいたします。

□2017年春季会報の編集後記を読み、編集にかかわる皆様のご苦勞の一端を知りました。「紙の会報は不要」との声もあるようですが、私は断然現行の会報が好きです。今号では「銀杏伐採式」の記事が大変興味深かったです。目黒の銀杏並木が戦争の犠牲になられた同窓生に由来すると初めて知りました。

会報はキャンパスの今とむかしを再発見する手がかりを与えてくれます。経費と労力の問題は本当に難しいと思いますが、紙の会報が続くことを願っています。(原文のまま)

中村 純子(都35期・英文)

□日頃よりお忙しい中、会報の編集等にご尽力くださりありがとうございます。先日、会報と共に寄付のお願いのプリントを見て、お恥ずかしながら初めて寄付をさせていただきます。

会報の中にもありましたが、同

窓会の維持の大変さを改めて感じました。その中でいくつか思ったことがあり失礼とは思いますが述べさせていただきます。

まず、会報の件ですが、製作、発送等の出費が多くなっていることです。私自身も会報の端から端まで読んでいないのが現状で、同じような方々も多いと思われます。会報に盛り込まなくてはならない内容を吟味し、頁数を減らしたり、現行のホームページへの移行を図ってもよいのではないかと思います。関連するウェブサイトの周知やメルマガ配信、または現在の同窓会活動状況に対するアンケート調査などにより今後の活動に役立てられるのも良いかと思えます。

単純な思い付きで、勝手なことばかり述べてしまいましたが、私自身も同じような悩みがあり、皆様のご苦勞がいかほどばかりかと思ひ、思わず筆をとってしまいました。

会報の方は、今後少しでも目を通す努力をし、寄付の方も続けられればと考えております。

委員の皆様におかれましては、お体大切にいただき、卒業生の橋渡し役として今後も活躍してください。(原文のまま)

石山 直季(都立保科大1期生)

2017年度同窓会評議員会・総会開催

10月21日(土)、日野キャンパスで65名が参加して第14回同窓会評議員会が開催されました。開会に先立ち同窓生担当部局の学生サポートセンター・市村学生課長から、歓迎の言葉と本年度のホームカミングデーの案内がありました。冒頭の会長挨拶では大学と同窓会の連携が一層強化されてきたことが紹介されました。議事では活発な質疑応答・議論が行われ、最後に次期会長、副会長が選任されて閉会しました。近年、若い世代の評議員の数も増え、懇親会では世代の超えた和やかな会話が随所で弾みました。

評議員会の前に、諸貫評議員を中心に企画して頂いたキャンパスツアーが開催されました。インダストリアルアートコースのギャラリーでは作品展示や最新工作機器、知能機械システムコースではロボット関連技術、航空宇宙システム工学コースでは風洞実験などについて、先生方や大学院生から丁寧な説明を受け、最先端を歩む母校の一面に触れることができました。

総会は11月3日(金曜日・文化の日)、南大沢キャンパスで開催されました。当日は「ホームカミングデー」(右記参照)にもあたり、会場の国際交流会館大会議室はほぼ満席の状態となり、上野学長からのご祝辞も賜り、議事は滞り無く進行。引き続き「同窓会寄

付講座『日本の産業と企業』10周年記念式典」も開催され、本年度ご担当の経営学系の高橋勲徳先生からお言葉を頂き、大学と同窓会の連携関係の充実を印象付ける会となりました。評議員会・総会議事録は会報春号に掲載されます。

評議員会・総会の模様は裏表紙の写真をご覧ください。

11月3日ホームカミングデー開催

南大沢キャンパスの大学祭「みやこ祭」の中日11月3日は大学と同窓会共催による2017年ホームカミングデーが開催されました。当日は雨天の予報が一転、「希代の晴れ男」を自称される上野学長のおかげか抜ける様な晴天に恵まれ、講堂での記念式典を皮切りに、国際交流会館では懐かしい写真パネルが展示され、カクテル・ドリンクサービスもついた「同窓生交流スペース」がオープンするなど、大学あげでの歓迎ムードとなりました。紅葉が美しいキャンパスに足を運んだ同窓生らは旧知の仲間とともに、妖怪研究の小松和彦氏の記念講演会、理工学系オープンラボ、91年館の大学展示室などを思い思いに訪れるとともに、模擬店や屋外ステージ等の懐かしい大学祭の雰囲気を楽しみました。夕刻からの交流会は200余名が参加の大パーティーとなり例によって学友歌を全員で肩を組んで歌いお開きとなりました。(文責 黒川 信)

友好の記念樹 ヤマモモ

大阪府立大学東京同窓会 会長 日柳 政彦

南大沢キャンパスの学生ホールの南側にある緑地帯に一本のヤマモモの樹があるのをご存知でしょうか。

このヤマモモは平成3年に都立大学が「目黒区八雲」から「南大沢」に移転した時、友好の記念樹として大阪府立大学東京同窓会から寄贈したものです。あれから四半世紀が経ち、その間「都立大学」は平成17年に都立4大学を統合し「公立大学法人 首都大学東京」として発足し(大阪府立大学も同じ年に府立3大学を統合し「公立大学法人 大阪府立大学」になりました)、併せて同窓会も新しい歴史を歩み始めました。

そして両校同窓会の交流も伝統的な新年会から最近ではホームカミングデー、や八雲サロンと中もず会の相互参加・講師交流にまで広がってきました。

数年前その後の行方を心配した当時の関係者が南大沢キャンパスを訪ねました。

ヤマモモは上手く育っているだろうか、木製のプレー

トも朽ち果てているのではないだろうか等など心配しましたが 杞憂に終わりました。

ヤマモモは大きくのびのびと育ち、プレートは首都大同窓会の支援もあり、プラスチック製に作り変えられました。

ヤマモモは忘れられる事なく友好の記念樹としての役割をしっかりと務めていました。

ヤマモモの花言葉は「ただひとりを愛する」だそうです。貴同窓会とこれからもこの花言葉のようにロマンチックな気持ちで友好を深めて行きたい思います。



第13回首都大学東京同窓会評議員会 議事録抜粋

本文中(資料参照)とあるのは、当日配布された資料参照の意味です。

日時 2016(平成28)年10月15日(土)

14時00分～15時10分

場所 首都大学東京健康福祉学部

講義室15

出席者 会長1名 副会長2名

評議員66名 委任状94名

合計160名

事務局2名

一、開会及び議長選出

萩原評議員(都・人文・仏文24期)が仮議長となり開会を宣言した。

林正弘(都・法経・経済14期)副会長が議長に選ばれ、定足数を確認後、河口評議員(都・工学・電気20期)が書記に指名された。

二、会長挨拶及び活動報告

黒石 輯会長(都・法経・経済14期)が挨拶並びに第12期活動報告を行った。

(1) 挨拶

会長就任後2期目に入り、順調に同窓会活動を展開できた。今回の評議員会は、4大学卒業生の一層の融和を図る趣旨で、荒川キャンパスで開催した。

就任以来、大学との連携強化を図ってきたが、少しずつ前進している。学部名が変更されることになったが、大学名についても関心をもって対応したい。

(2) 活動報告

内容については、事前にお渡しした議案書のとおりであるが、特にコメントすれば、シンガポールの同窓会を正式な同窓会に立ち上げた。今後このような活動が他地域にも広がり、世界中の留学生の支援ができるようになることを期待して

いる。

三、議題

(1) 第1号議案 第12期決算報告

①吉田俊雄財務委員長(都・理・数学19期)の説明。

・収入…入会金が過去2番目に多い金額となった。

・支出…学生支援費が大きく減っているが、これは予算計上した経費のうち、大学が負担したため、支出しなくてよくなったものがあつたことによる。

・特別会計…特別会計制度は、9期よりスタートした。一般会計のマイナスが出た場合、それを埋めるため特別会計から一般会計に繰り入れていたが、今期は430万円であった。

②監査報告 加藤充子監事(都・法経・経済・9期)より。

8月30日に八雲クラブにおいて、第12期決算について監査を行い、八雲クラブ特別会計を含めて適切に処理されていることを確認したとの報告があつた。

議長は第1号議案について質疑を求めた。

問 廣瀬省蔵氏(都・工学・建築22期)

期末繰越金1億6百万円は資産としてあるのか。

答 松浦事務局長

繰越金は同窓会の資産として存在する。

問 廣瀬省蔵氏

特別会計の残高は今後このまま維持する姿勢で行くのか、同窓会活動を活発にすることでどんどん減らす方向なのか。

答 林議長

同窓会活動を活発に行うとともに、収入を増やしていきたい。

議長は、会場からの質問が終了したこと

を確認して、採決に移り、第一号議案は承認された。

(2) 第2号議案 第13期予算

予算案の説明の前に、松浦事務局長より、資料のうち修正があり、16ページを差し替

吉田財務委員長の説明

支出…学生支援費は、次期の府大戦が南大沢になるので、派遣費が不要になり、減額した。

収入…入会金と寄付金を増やして、特別会計の残高を増やしたい。

議長は、第2号議案について質疑を求めた。

問 浜田敏男氏(都・工学・電気16期)

入会者 寄付を増やす手立てはあるのか。

答 松浦事務局長

入会勧誘のパンフレットを新入生全員に渡したり、入学式には保護者にも渡すなどして入会の呼びかけをしている。

問 松見豊和氏(都・法経・経済12期)

入会金を払うのは親である。金を持っていない新入生に働きかけても効果は少ないのではないのか。また、準会員に会報は送っているのか。

答 松浦事務局長

入学者と同時に親にも入学式に勧誘パンフレットを渡して支払いをお願ひしている。準会員への会報送付は経費の関係で今のところはやっていない。

問 松見氏

親御さんに郵便などで直接働きかけはできないのか。

答 松浦事務局長

個人情報との関係があり、そのような対応はしていない。

問 戸辺文博氏(都・工学・建築21期)

府大戦等の情報を卒業生全員に伝えられるようできないか。

答 松浦事務局長

この件も個人情報との関係があり、こちら

から全員に伝えることができない。

問 諏訪内幹弘氏(都・工学・機械21期)

H Pを作るとき、準会員のコーナーを作ったのに全く使われていない。学生への情報提供はどうなっているのか。

答 松浦事務局長

活用されていないのは事実。広報委員会とも連携して、今後準会員のコーナーを活用していきたい。

関連して根谷崎武彦氏(都・理学・化学10期)より、一般学生は準会員としての意識がないので、準会員コーナーに対する関心が低いのではないのか。準会員としての意識を高めることが必要ではないかとの意見があつた。また、林議長からH Pについては一般の会員の関心も低いので、一般会員の関心を高めることも必要だ、とのコメントがあつた。

問 廣瀬省蔵氏

H Pの学生のためのコーナー作成は、学生アルバイトを使って作成してはどうか。アルバイトをすることにより同窓会に対する意識づけにもなる。

答 松浦事務局長

学生支援という意味でも学生アルバイトをできるだけ使うようにしている。H Pの作成作業も学生アルバイトにやってもらっている。

問 小田曜一郎氏(都・工学・機械22期)

八雲クラブに賃借料を払っている。T D Sの実態はどうなっているのか。

答 松浦事務局長

・T D Sは八雲クラブの所有者

・T D Sの損益計算書等は今度出る会報に掲載することになっている。

石橋櫻治氏(都・工学・建築13期)

前T D S社長

・30年前のバブル期に多大の寄付が集まり、マンションの一室を購入した。同窓会は法人格がないので所有権はなく、T D Sを設

立し、TDSが八雲クラブを所有する形をとった。

・株券はすべて同窓会が所有し、管理はTDSが行っている。

問 重原好次氏（都・理学・化学8期）
八雲クラブもHPでもっとPRしてはどうか。

答 丑山佐千男八雲クラブ委員長（都・法学・政治22期）
HPを見て参加いただき、会員になってもらった例もある。毎月活動しているのみなさんにも参加していただきたい。

問 鈴木祐美子氏（都・理学・生物56期）
今後、HPのアクセス数を増やすことが

必須になる。東大では、メールを利用してアクセスを増加させている。メールマガジンを活用したらどうか。

答 林副会長
今後、積極的に活用したい。

議長は会場からの質問が終了したことを確認して、採決に移り、予算案は承認された。

四 閉会
林議長が15時10分評議員会の閉会を宣言し、終了した。

2016年10月15日

第13回首都大学東京同窓会総会 議事録抜粋

（文中（資料参照）とあるのは、当日配布された資料を参照の意味）

日時 2016（平成28）年11月5日（土）

15時30分～15時50分

会場 首都大学東京南大沢キャンパス
国際交流会館 大会議室

出席者 会長 副会長3名
理事 評議員 正会員 計80名
事務局2名

一、開会
関根紀夫理事（医技短1期）が開会を宣言した。黒石 輯会長（都14期経済）が議長席に着き、規定により黒石会長が議長となり、河口 修理事（都20期 院電気）を書記に指名した。

二、会長挨拶・活動報告
規約により黒石 輯会長より挨拶があり、続いて会長が議長となり第12期活動報告を行った（資料参照）。

三、評議員会報告（資料参照）
林 正弘評議員会議長（都14期 経）が

次の評議員会報告1、3、項が説明された。

(1) 第13回評議員会は、10月15日「青鳩祭」開催中の荒川キャンパスで開催され、出席者66名、委任状提出者94名であった。

(2) 第12期（平成27年8月1日～平成28年7月31日）決算について
吉田財務委員長より報告があり、加藤監事より適切にされているとの監査報告があり、質疑応答ののち、議決承認された。

(3) 第13期（平成28年8月1日～平成29年7月31日）予算について、財務委員長より報告があり、多数の質疑応答があった。主なものは、
① 入会金の増収策について知恵を絞るべき。
② ホームページの利用を、準会員コーナリを含め積極的に運用すべき。
③ ホームページのアクセス数を増やすためにメールマガジン等を利用すべき。
④ 八雲クラブをもっとPRすべき。
等で、同窓会活動の活性化について前向きのものであった。
ここで黒石議長が質疑を求めた。特に質問はなく、拍手多数により評議員会報告は承認された。

最後に、黒石議長が来年1月29日の新年会の参加のお願いを出席者に行った。

活動報告
シンガポール同窓会が規約上の「各種同窓会」になった。現在、シンガポール同窓会と現地機関の幹部及びこちらからの留学生を交えた会合を持つ話がある。現地の同窓会が留学した学生の相談相手になってもらえないかという大学の意向に配慮されるよう、本件を契機に世界の主要都市に展開できるようにしていきたい。

四、閉会
関根理事が開会を宣言した。

2016（平成28）年11月5日

恒例の七夕の会（7月23日）

スタッフを含めた参加者は20名
で、本学関係者は
留学生 6名
在校生 2名
OB 3名

今回は本職の舞踊家が着物の着付けをしてくれたので皆素晴らしい着物姿でした。

また当日は近くの神社で盆踊りがあり、飛び入り参加、日本の夏祭りを楽しみました。

場所 久崎宅（JR中野駅徒歩7分）
スケジュール
12:30 Open House & ランチ
14:00 着物の着付け短冊作成、自己紹介、七夕の歌等
16:30 Teaタイム
17:30 日本舞踊の稽古場見学
18:30 盆踊り大会参加
20:00 解散



寄付金受領のお礼 ご報告とお願い

維持寄付へのご賛同ありがとうございました。

財務委員会委員長 吉田 俊雄（都19期・数学）

新しい寄付制度による「維持寄付」については、皆様のご協力により、終身会費の納入後10年以上経過された方々約9,000名のうち、制度創設以来、約3,000名を超えるという多くの皆様から、約2,200万円のご寄付をいただきました。

同窓会の収支の改善に大きな力となっております。大変ありがたく、感謝申し上げます。

特に、現役学生に対する支援は、同窓会としても、今後もっともっと力を入れていきたいと考えております。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

第13期（2016.8.1～2017.7.31）の実績は、下記のとおりです。

- I 維持寄付
 1. 終身会員で10年以上経過の方 511名 約358万円
 2. その他の方 102名 約66万円
 II 目的寄付 59名 約66万円
 （人数はいずれも延べ人数です）

- III 寄付頂いた方の名簿は、以下のとおりです。敬称略
 1. 維持寄付名簿（終身会員で、納入後10年以上経過された方です）
 2. 目的寄付名簿
 3. 維持寄付名簿（上記以外の方々です）

1. 終身会費を納入後10年を経過した会員へお願いした「維持寄付」 2017年7月31日現在

氏名	卒期	学科	高橋 邦夫	8	経済	柴崎 昱太郎	12	経済	大野 博昭	16	化学	島田 修	21	機械
岡崎 昭子	1	経済	大川 時夫	8	物理	木曾 弘隆	12	機械	今井 信一	16	機械	佐藤 恒夫	21	電気
杉 和	1	法学	高宗 寛暁	8	物理	安齋 猛	13	法学	鷹羽 良明	16	建築	藤野 岩男	21	電気
浅田 雅子	2	社会	小林 孝	8	機械	柴田 良彦	13	経済	畑中 有三	16	建築	寛 光夫	22	生物
松山 正男	2	英文	大和 貞治	8	電気	山口 邦彦	13	経済	吉田 宗賢	16	工化	斎藤 泰一	22	電気
小柴 恭男	2	電気	渡辺 陸雄	8	電気	蓮見 壽男	13	物理	岩橋 楨夫	16	化学	松岡 孝一	22	電気
鈴木 喜久	2	物理	加藤 英男	9	法学	村田 忠義	13	物理	渡辺 隆志	16	電気	相原 和俊	22	建築
新嶋 昌泰	3	経済	岡 義雄	9	物理	池辺 一男	13	生物	孤島 法夫	16	土木	磯崎 啓	22	工化
吉野 泰司	3	経済	田嶋 和夫	9	化学	大西 俊雄	13	建築	平林 昇	17	経済	白石 吉一	22	機械
宮地 壽々子	3	仏文	田嶋 縊子	9	化学	池田 正義	13	工化	浜地 真	17	数学	東 清	23	政治
有賀 数夫	3	電気	長谷川 良佑	9	化学	松園 典子	13	人類	中島 平三	18	英文	杉山 由彦	23	経済
岩戸 輝雄	3	電気	高野 徹	9	電気	鮎澤 乘光	14	英文	高川 忠孝	18	経済	吉田 聡	23	経済
櫻井 愷	4	経済	橋場 和夫	9	建築	大熊 輝興	14	経済	服部 兆隆	18	化学	春日 常雄	23	数学
矢野 泰久	4	機械	杉浦 治人	10	法学	黒石 輯	14	経済	太田 隆司	18	機械	嶋崎 壽勝	23	物理
幸田 吉三郎	5	機械	館 義和	10	経済	三野村 暢禧	14	経済	大牧 民	18	建築	高柳 勇生	23	化学
川西 秀次郎	5	建築	永島 義弘	10	経済	前田 弘子	14	数学	山崎 公士	19	法律	小笠原 康司	23	土木
鈴木 基之	5	建築	小川 周夫	10	物理	井上 康夫	14	機械	吉田 俊雄	19	数学	権田 欣吾	23	工化
菊地 光雄	5	工化	当津 純一	10	生物	後藤 泰三	14	建築	並木 和久	19	機械	中村 典子	24	法律
五味淵 恵二	6	法学	野口 治朗	10	機械	安藤 邦雄	14	工化	丸池 澄男	19	土木	星名 隆之	24	経済
市原 孝	6	経済	西尾 正嗣	10	工化	池上 恵子	14	英文	関戸 光雄	20	哲学	岩村 早苗	24	生物
五十嵐 弘毅	6	機械	本間 景介	10	工化	堀田 満	15	社会	佐藤 誠	20	史学	久間木 昌子	24	地理
高橋 英雄	6	機械	宮本 千晴	11	社会	山梨 幹子	15	仏文	岩館 信隆	20	政治	田村 秀夫	24	機械
小林 義明	6	電気	瀬尾 貞善	11	法学	横山 征児	15	法律	鈴木 勝	20	経済	廣井 徹磨	24	機械
中村 敬子	6	日東	糸永 忠生	11	経済	松浦 知彦	15	経済	靄島 勝	20	経済	蓮池 博	24	土木
澤井 泰	7	法学	中島 守正	11	経済	森 憲一	15	経済	三村 輝明	20	数学	本間 和史	24	土木
清水 敬信	7	経済	今村 範子	11	数学	境 康喜	15	物理	澤井 雅之	20	物理	高橋 正彦	25	教育
蒔田 實	7	化学	小林 禧夫	11	電気	向山 吉之	15	化学	工藤 純	20	化学	鈴木 次雄	25	法律
生方 康之	7	電気	牧野 誠一	11	英文	小島 徹也	15	機械	浦山 齐	20	土木	鈴木 洋子	25	経済
田島 睦也	7	電気	佐久間 義一	12	法学	土山 正	15	機械	小池 信男	21	経済	比留川 京子	25	化学
楨 俊彦	7	電気	平綿 文雄	12	法学	時本 忠	15	工化	中澤 一	21	経済	五十嵐 英樹	25	機械
平松 晃	7	土木	松原 卓朗	12	法学	三島 祥孝	16	法律	安永 雄一郎	21	経済	中谷 光弘	25	機械
澤井 佳子	8	法学	力村 周一郎	12	法学	藤井 信吾	16	経済	笹川 耕太郎	21	地理	八木 隆	25	機械

菊田	誠一	25	電気	若井	隆男	28	経済	市原	敏秀	32	化学	石川	誠	37	化学	永井	勝	44	経済
恩田	盛道	25	土木	伊藤	信博	28	数学	長	俊連	32	化学	平野	幸彦	38	英文	井上	憲一	44	建築
李	和樹	25	機械	黒川	信	28	生物	藤原	秋江	32	工化	内藤	統也	38	物理	杉山	多美子	45	法律
松村	淳子	26	心理	福田	俊策	28	建築	三原	好博	33	史学	森	洋	38	地理	杉村	尚	45	地理
田中	浩	26	経済	久野	禎之	28	工化	平田	修	33	英文	髭野	実	39	法律	河野	光子	46	電情
長岡	均	26	経済	西島	剛志	29	物理	樽井	直子	33	生物	小口	正史	39	政治	野木森	明香	49	経済
松橋	公治	26	地理	岡田	正義	29	土木	山崎	浩美	33	生物	鈴木	洋松	39	数学	川口	真理	49	化学
茂呂	英雄	26	地理	後藤	勝久	29	化学	天見	晴雄	33	機械	北原	スマ子	39	史学	滝口	紘子	50	心理
石井	和夫	26	土木	加藤	光儀	30	法律	犀川	正之	33	機械	入江	範一	40	物理	楠	千鶴	51	社福
行成	洋一	26	建築	清水	治郎	30	物理	石原	恵一	33	土木	本田	昌洋	40	化学	新井	孝枝	51	経済
富田	正憲	26	工化	三橋	涉	30	生物	森	幸男	33	電気	柳	美由紀	40	建築	斎藤	光	52	地理
三浦	和也	27	社会	土屋	徳寿	30	土木	中城	剛志	34	法律	長谷川	公子	41	法律	横川	慎二	科1	電子
三浦	世生子	27	史学	北爪	幸一	30	建築	青木	美幸	34	経済	山本	有香	41	法律	山本	祐一	科7	機械
大貫	洋子	27	英文	前田	義弘	30	工化	浅水	一成	34	経済	小熊	貞子	42	国文	田部井	康一	科1	航空
河野	容子	27	法律	保阪	靖人	30	独文	高野	早苗	34	化学	佐藤	武史	42	化学	白倉	奈美	医3	看護
平塚	裕子	27	法律	庄司	操	31	史学	寒河江	英利	34	機械	野一色	恭子	43	政治	坂本	律子	医4	理学
小卷	恵理子	27	政治	志村	喬	31	地理	永井	俊也	35	法律	中村	聡太郎	43	電気	齋藤	夕子	医7	地域
山岸	徹也	27	土木	村下	雅之	31	物理	建部	忠夫	36	法律	鈴木	一哉	43	電情	加藤	陸	医8	助産
内山	正治	27	工化	鯨井	敏朗	32	法律	松井	理	37	法律	神長	唯	44	社会				
安藤	清	27	地理	森下	芳行	32	法律	山井	愛樹	37	地理	原田	亮	44	政治				

* 大学名無しは旧都立大学、医は旧医療技術短大、科は旧科学技術大学の略

2. 学生支援を目的とする「目的寄付」

氏名	卒期	学科	近藤	久義	8	建築	石坂	直	13	機械	柳沢	麻里子	22	法律	原田	亮	44	政治	
榎本	誉	2	経済	光藤	康子	9	社会	柳田	光一郎	13	工化	吉田	喜一	23	機械	橋本	豊	45	物理
稲原	高行	4	電気	加藤	充子	9	経済	松浦	知彦	15	経済	伊藤	隆介	24	物理	土井	淳	科6	航空
山田	昭雄	5	電気	久崎	力	9	電気	高木	攻	16	土木	佐藤	信一	27	土木	西形	勝宏	医1	放射
岡本	経雄	6	経済	肥沼	徳寿	10	物理	神原	宏臣	17	経済	谷口	徹	27	土木				
杉山	一郎	6	経済	高橋	光次郎	10	機械	堀	那華雄	17	化学	熊井	太郎	37	法律				
杉山	元	8	法学	進	祥夫	12	工化	中島	平三	18	英文	平山	英敏	39	中文				
小林	孝	8	機械	永峯	和恵	13	社会	吉田	俊雄	19	数学	高橋	雅之	40	法律				

* 大学名無しは旧都立大学、医は旧医療技術短大、科は旧科学技術大学の略

3. 目的を定めない一般的な「維持寄付」

氏名	卒期	学科	太田	雅之	10	法学	松尾	誠	14	電気	松原	清	20	工化	黒田	裕康	42	社会	
宮崎	英男	2	化学	江幡	吉信	10	経済	田篠	達郎	14	建築	出戸	達雄	21	物理	中村	良広	42	土木
大池	秀夫	4	経済	跡部	輝彦	10	工化	藤原	忠顯	15	法律	桑原	清	21	電気	伊藤	光	47	法律
長沼	真澄	4	哲学	浅野	繁夫	11	経済	松浦	知彦	15	経済	藤原	宏	22	機械	松田	直之	48	社会
畠山	正俊	4	機械	辻野	俊明	11	機械	山本	忠	16	地理	毛利	史子	23	法律	桑野	嘉市郎	56	工化
神山	洋	5	土木	矢澤	功	11	建築	浜田	敏男	16	電気	松坂	和彦	28	経済	浦	誠	科1	管理
澤井	泰	7	法学	高田	晴彦	12	機械	神原	宏臣	17	経済	森田	真一	29	物理	石原	潤子	医1	看護
武居	文彦	7	化学	中澤	勳	12	電気	喜入	博	17	地理	廣川	祐司	30	政治	西形	勝宏	医1	放射
生野	智久	7	工化	玉城	成夫	13	化学	大月	径生	17	工化	橋本	公一	30	工化				
高橋	清治	9	法学	石井	孝男	13	土木	大谷	猛夫	18	地理	大森	保	32	法律				
加藤	充子	9	経済	木村	宏一郎	14	史学	中拂	昭史	18	土木	鈴木	毅彦	33	地理				
平井	功男	9	土木	林	正弘	14	経済	吉田	俊雄	19	数学	尾上	志保	34	法律				

* 大学名無しは旧都立大学、医は旧医療技術短大、科は旧科学技術大学の略

訃 報

ご逝去された名誉教授の方々及び事務局にお知らせのあった同窓の方々を謹んでご報告申し上げ、
心からの哀悼の意を表します。 (2017年8月31日現在)

氏 名	所 属	逝去年月日	氏 名	所 属	逝去年月日
小林 澈 郎	名 誉 教 授 (都立大理学部)	2017. 03. 26	白 倉 隆 一	都7・工・電気	2017. 03. 09
			加 藤 静 夫	都8・工・機械	2016. 08. 22
川 口 士 郎	名 誉 教 授 (都立大工学部)	2017. 06. 14	浜 村 孝 昭	都9・法経・経済	2016. 00. 00
			藤 井 忠 代	都9・理・化学	2017. 06. 04
山 崎 柄 根	名 誉 教 授 (都立大理学部)	2017. 08. 17	山 根 典 子	都9・理・化学	2017. 05. 13
			高 橋 治 宏	都9・工・機械	2017. 04. 17
下 山 瑛 二	名 誉 教 授 (都立大法学部)	2017. 08. 24	蓮 見 昭	都10・法経・経済	2016. 01. 00
			路 川 智 昭	都10・理・化学	2016. 06. 22
田 代 伸 一	名 誉 教 授 (首都大工学部)	2017. 09. 04	福 間 信 二	都10・工・機械	1988. 12. 30
			渡 辺 和 巳	都11・法経・経済	2017. 04. 11
小 川 洋 太 郎	都1・人文・経済	2017. 01. 17	林 久 美 子	都11・理・化学	2017. 00. 00
外 村 青 滋	都1・人文・仏文	2017. 05. 15	藤 友 信 彦	都12・法経・法学	2016. 09. 00
山 口 重 雄	都1・理・物理	2017. 07. 09	金 子 潔	都12・法経・経済	2017. 08. 07
佐 藤 喜 一	都2・人文・国文	2016. 12. 06	鈴 木 克 尚	都12・法経・経済	2014. 10. 12
清 水 宏 平	都2・工・電気	2017. 05. 05	深 山 一	都12・工・機械	2014. 01. 00
前 川 秀 雄	都2・院人・国文	2017. 01. 01	酒 井 成 生	都12・工・電気	2017. 05. 01
西 村 雄 吉	都3・人文・経済	2015. 05. 03	斎 藤 精 徳	都13・工・電気	2017. 03. 19
山 口 義 一	都3・人文・経済		工 藤 力	都14・院人・心理	
菊 池 武	都3・人文・法学	2017. 02. 02	宇佐美 祐 史	都15・工・工化	2017. 03. 26
佐 藤 哲 三	都3・理・化学	2017. 05. 17	石 井 雅 之	都18・経済・経済	2017. 02. 25
高 二三夫	都3・工・電気	2017. 01. 08	今 田 栄 二	都18・工・建築	2017. 07. 30
堤 久 雄	都3・工・建築		鹿 又 和 夫	都21・工・土木	2017. 02. 21
澤 渡 永 吉	都4・工・電気	2017. 04. 06	三野宮 斗 史	都25・人文・社会	
関 郁 夫	都4・工・工化	2017. 07. 22	廣 本 泰 之	都26・工・工化	2017. 07. 06
平 林 稔	都4・工・土木	2017. 05. 27	柿 内 肇	都27・法・法律	2016. 00. 00
飯 塚 二 郎	都4・院人・哲学	2016. 11. 17	鈴 木 和 世	都28・法・法律	2016. 12. 19
古明地 義 久	都5・理・化学	2015. 08. 20	浅 井 英 明	都31・工・工化	2016. 11. 06
市 原 孝	都6・法経・経済	2017. 01. 03	小 南 隆 治	都34・法・法律	2017. 04. 17
今 村 安 雄	都6・法経・経済	2015. 10. 19	関 進 二	都36・工・建築	2010. 10. 15
大 沢 清 二	都6・法経・経済	2015. 06. 11	宮 川 博 志	都38・経・経済	2015. 12. 05
伊 藤 勝 介	都6・工・土木		清 水 潤	都42・院人・国文	2017. 03. 13
牧 田 信 行	都7・法経・法学	2016. 01. 27			

この同窓会はバレー部のOB・OGの交流促進と現役部員の支援を目的として、2年に1度、東京で府大戦が行われる年に総会と懇親会を開いています。第5回目を迎えた今年、當津純一会長（10期・理・生物）と平沢廣光副会長（12期・理・物理）が勇退され、感謝の花束が贈られました。新しい会長、副会長には松嶋敬一さん（18期・工・電気）と小笠原信一さん（20期・工・電気）がそれぞれ就任されました。

今回は8期から今年卒業65期までのOB・OG 47名、現役部員男女36名の総勢83名が集結、過去最高の参加人数になり、大きな盛り上がりを見せました。特に昨年からのOB・OG各世代の皆さんに呼びかけて集めた過去の戦績情報、昔の写真、寄稿文、かつてのユニフォーム実物などの展示は、出席できなかった方々から届いた近況やメッセージと相まって、記憶の片隅に

あった思い出を呼び覚ます一助になりました。府大の名前は以前「浪速大学」だったことや練習は屋外の土の上だったことなど若い世代には珍しかったようです。

現役の男子、女子バレー部には支援金と備品（男子にボールかご、女子にボールケース）が送られ、出席者全員で応援歌と学友歌を斉唱、最後に記念撮影をしてお開きとなりました。

翌週に行われた男子府大戦には多くのOB・OGが応援に駆けつけましたが、残念ながらフルセットの末の惜敗でした。しかし2セットを先取されながら2セットを取り返す粘りを見せてくれた選手に熱い声援を送ることができました。

今後もバレーボールを通し、世代を越えた交流の場としてこの集まりを発展させていきます。

バレー部同窓会事務局担当 本間 和史(都24・工・土木)



銀座の画廊で念願の個展開催

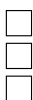
迫力の写真一葉、一瞬の切り口の映像が人の心を捉え、惹きつけられ目が放せなくなる。その力はどこから生まれるのだろうか。一方、手軽なデジカメからスマホが普及し、日常の一瞬を仲間同士に送って話題提供の道具にする。写真利用の変遷も驚くばかり、映像の意味が多様化し、人々が自由な使い方をして広がっていくのは自然なことなのだろう。私はデジカメが普及し始めた頃から沢山の花や樹木の画像を集めるようになった。改めてそれらの画像を並べてみると自然界の色の変化や多様性に小さな感動を覚えるのである。

一方、パソコンも結構楽しく自分の思うように使えるようになり、これらの写真に手を加えて作品を作り始めてからもう7年ほど経った。6年前の本誌

TMU11号の表紙にさせていただいたところ、ある友人から「面白い作品ですね」とのご評価をいただいて嬉しかった。私も来年は驚くことに米寿を迎える。それに友人たちの誘いもあり、一度、個展を開いてみるのも良いかもしれぬ。そういえば母親は幼い頃からの絵画の楽しみを父親を送ってから学び直し、銀座で2度も個展をやった。私も頑張ってみよう、決心した。「色彩と造形」というテーマで四季の色合いを追いかける形で30点ほど並べた、2日目に気がついてどの作品に目がとまったかを伺い、記録してみた。男性、女性で好みがはっきり異なり、面白い結果になった。150人もの方がご来場になり、知人だけでなく初めて見てくださる方も十数人お見えになり、極めて充実した一週間を過ごす事が出来た。

裏表紙のカラー写真参照。

(都3・理・化学 田村 千尋)



恒例の八雲三六会開催

そろそろ傘寿を迎える年齢の会員で構成されている八雲三六会（理学部化学科9期）の同期会が今年も10月24日、14人の会員が集まり、横浜港を一望できるKKRポートヒル横浜（港の見える丘公園内）で開催されました。会合はこの1年間に世を去った2人の会員の冥福を祈る黙祷で始まり、これも齢80歳を数える同期の仲間となればやむを得ないセレモニーです。けれども黙祷後に乾杯で始まった歓談はエネルギーにあふれ、年齢を感じさせません。みな顔を合わせた瞬間に学生時代の青春を取りもどしたようです。

予定の2時間はあっという間に過ぎ、一同で来年の会合の相談に入りました。みな同期会の閉会には否定



的で来年は会員が一人いる松本での再会を約してお開きとなりましたが、一部の会員は中華街に繰り出し、老酒の勢いを借りて年齢に似合わぬ氣勢を上げました。

(根谷崎武彦)



平成 28 年度 東急八雲会

東急八雲会は、東急電鉄をはじめとする東急グループ各社の本学出身社員・OBによって構成されており、現在約 130 名の会員を擁しています。年に一度総会を開催し、会員同士の交流の場を設けております。

今年度は、平成 29 年 3 月 2 日（木）に東急グループのホームタウンである渋谷のエクセルホテル東急にて開催され、年度末の多忙な時期にも関わらず、新入社員からOBまで幅広い世代から 45 名の参加を得ました。

当日は、役員の変更が行われ新しい東急八雲会会長に東急不動産株式会社 植村代表取締役副会長が就任し、現会長の東急不動産ホールディングス株式会社 植木取締役相談役が名誉会長に就任されました。また、

副会長には東急保険コンサルティング株式会社 吉田取締役専務執行役員と東急建設株式会社 根本執行役員札幌支店長のお二人が新たに就任されました。

懇親会ではグループ各社の近況報告や新入社員の紹介などが行われ、新入社員が現在の本学の様子について先輩方の質問に答えたり、様々な業種の興味深い話に耳を傾けたりと、予定時間があつという間に過ぎていきました。また、会場の至るところで活発な意見交換がなされており、会の終了後、そのまま延長戦に入った会員もちらほらと……。何はともあれ無事盛会の内に終了することが出来ました。

当会は、東急グループの様々な業種や年代の同窓の方々と交流できる大変貴重な場であります。今後も会員各位（特に若手の方）の積極的な参加をお願いいたします。

（文責 都 43・経済 森山 正 東急建設勤務）



第 5 回 TMU バレーボール部同窓会の開催

TMU バレーボール部同窓会を 7 月 1 日（土）に首都大学東京国際交流会館内のレストラン「ルヴェソングェール南大沢」で開催しました。



飯田（精神医学）、増山（数理心理）の各先生の名前が飛び出し、それは錚々たる面々で、しかもあたたかい雰囲気だったことが口々に語られ、懐かしさの溢れるひとときとなりました。「都立大伝統」と言われる家族的雰囲気は心理学教室にも生きていたということでしょう。

当時はまだ心理学での就職先は限られていたが、最

近はようやく心理卒後の道が見えてきたということも話題になりました。

ネットにメールという便利なツールのおかげで、ようやく繋がった同期の輪、これからも生きていく限り続いていくことと思います。

志田 敏明（都22・人文・心理）



柔道部 OB 会「八畳会の紹介」

八畳会会報が平成4年（1992年）創刊以来25号に成りました。最初は25ページから現在は65ページのカラー版に迄成長して来ました。会員の継続努力が過去・現在・未来を結び付け、柔道部創設の3期から始まり、64期迄の現在249人で、正に継続は力なりです。八畳会の目的は、会員相互の親睦及び現役柔道部への援助です。

会員の親睦としては、少し緊張する年度総会による八畳会事業の確認。そしてそうだったのか～と納得する特別講演（今年は22期八畳会員の谷村正人さん・ロシアとロシア人～10年のモスクワ駐在をベースに楽しく裏事情まで）はQ&Aが続出で司会者ストップになる程。その後お愉しみの新年会（今年参加者58名）が開催されました。会長挨拶や、来賓（大阪府立大学柔道部OB会・副会長や柔道部部长・村田啓子教授）の挨拶そして待ちに待った乾杯～！です。その後、新会員（卒業生）7人への記念品や今後の決意そして年間特別賞の表彰、特別コーナーとして、北海道新幹線のトンネルを掘っている30期宇田誠さんからの楽しいお話と続きます。もうこのころ会場は大盛況です。現役からの活動報告や昨年の惜敗した府大戦映像報告と今年の必勝宣言、それに期待してOB会から現役へ

の激励金が渡り、現役はもう逃げられません。最後に全員で学友歌斉唱とエールで、あっという間の2時間30分が過ぎました。

また会員の懇親ゴルフも楽しく年2回行われ、昔の気質が忘れ難く、フェアプレーの精神にのっとり、ノータッチ・カップインで競っています。会員の中にはエイジシュート（年齢以下のスコアでプレイする事）を複数回達成した豪傑が2人もいます。ここ数年「昔はあそこまで飛んだのになア～！」の声が高まり、ついに去年から80歳以上はシルバーティ使用可能となりました。ゴルフって年齢に関係なく楽しめるんですね！

さて、最後は、現役柔道部への援助で、それは激励金と応援です。首都大学東京体育会柔道部は、私立と違って決して強くありません。でも、国公立戦では上位に食い込みたいと頑張っています。特に大阪府立大学との定期戦勝利には並々ならぬ執念を燃やすことが伝統になっています。今年の勝利（僅差の逆転内容勝ち）に飛び上がって、叫んでそして涙ぐんで、喜んだ現役部員達の姿は忘れられません。「負けから学び、目的を達成するこのプロセスが人を成長させる根源」とは社会人になって気づきますね。会員の親睦活動と応援（府大戦当日応援OB26人）が継続の力になっています。八畳会フォーエバー！

八畳会 事務局長 19期機械科 池ノ谷保男



工学部 14 期卒業生「50 周年同期会」の開催結果

当時の A 類と B 類を合わせて 200 名近くが工学部 14 期生として東京都立大学を卒業したのは昭和 41 年 3 月である。当時は機械、電気、土木、建築、工化の 5 学科から成り立ち、卒業生の多くは社会で活躍してきたが、この間、他界した者もおり心よりご冥福をお祈りいたします。

思い起こすと 3 年次の時に東京オリンピックが開催され、工学部校舎屋上からは駒沢競技場が見渡され、その活況の一部を垣間見ることができた。

今から 20 年前に、卒業 30 周年記念大会を東京駅のホテルで開催し、その後は各クラスでの同窓会を実施してきた。この 50 周年の機会に、工学部全体で記念大会を開催することにした。当時の先生方の多数が他界されたこともあって、今回は卒業生のみで、かつ開催場所を南大沢キャンパスの国際交流会館に設定し、現在の首都大学を知っていただくようにした。

(写真をご覧くださいとお分りのように、) 参加者全員がお爺さんで、70 歳を超えた雰囲気は漂うが、参集した者は皆なすこぶる闊達であった。各科ごとに参加者に近況報告いただいたが、どの話題も懐かしく素晴らしく、時間が過ぎるのを忘れるほどであった。

50 年前に都立大学で学んだことの大切さ、小さい規模であったが総合大学としての友達の多様さ、卒業後もあれこれと指導いただけた先生方、1 年次の頃は僅か 15 円の生協ソバ、大学祭で展示した各科の成果や酒店、などなど決して忘れることができない素晴らしい思い出を語りあって一次会を終了したが、その後は各科中心に南大沢駅前思い出と今後は語りつくした。

多分、今後は学部全体として同期会を開催できないかもしれないが、各科ではクラス会が開催されるであろう。末筆ながら 50 周年同期会の開催に当たり各科の幹事にご尽力いただき、全体的には現首都大学同窓会役員の石原 裕氏の活躍があって可能であったことを申し述べておきたい。



都立大 22 期心理卒同期会 (43 年ぶり、初!)

「そうだ、心理学科の同期会をやろう！」——そう思い立って首都大の同窓会に連絡をとり、初めて南大沢に行ったのが昨年 11 月。

まずは、住所の分かる方へのハガキからスタート。「来春に元の都立大辺で」と呼びかけました。

最初のリアクションは、南大沢にお住まいの方。「都立大学駅は遠い」——確かに。住所リストを睨んで、新宿へと会場転換。反応があったのはハガキを出した 6 人中 3 人、ちょっと寂しい数。

かつて心理学科で作られた卒業生名簿を提供くださった方がいて、第二次のハガキ作戦。さらには女性陣のつながりを通じての働き掛けで、女性は 7 人全員と連絡が取れ、うち 6 人が出席へ。男性陣は、インターネットでの情報収集が有効でした。

ある方の名前をネットの昔の告知ビラ上に発見。そこにあった情報を手掛かりに探り当てた住所にハガキを送りました。「もし私の名前に心当たりがなければ無視してください」との書き出し、果たして「アタリ」でした。「まるで名探偵のよう」と感心されました。

そんなこんなでほとんどの方と連絡が取れ、うち 9 名が参加の方向と定まったのが年明け。それから日程調整 (ネットの「調整さん」活用)。一度目は不調、全員参加を目指して 5、6 月で再調整、6 月 3 日 (土) 昼と定まりました。

会場はタイムズスクエアの中華料理店に。円卓個室が確保できたからです。間際になって 1 人が仕事で欠席になりましたが、新たに 2 人から出席との連絡があり、参加者は 10 名に。

当日は、幹事の用意した資料 (不参加の方からのメール、『都立大 30 年史』のデータや写真、首都大と旧都立大付近の最近の写真) を脇目に、スピーチに耳を傾けました。

和田陽平先生 (知覚心理) はじめ、辻 (社会心理)、詫摩 (性格心理)、三浦 (教育心理)、今井 (知覚心理)、



TMU PLAZA

硬式庭球部夏のOB・OG会

盛夏恒例のOB・OG会は25回目を迎えることができました。これもOB・OG会の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。

今年は7月29日(土)、大学のテニスコートにて開催しました。当日は2:30ころまでテニスに、3:00ころより懇親会を、という次第で進み、多数の1年生を迎え、にぎやかに楽しく過ごすことができました。

1984(昭和59)年卒:安藤典子;1985(昭和60)年卒:森永智子さんの2名が初めて女性幹事となりました。皆様のあたたかい応援をよろしくお願い申し上げます。

この3月25日に卒業生のお祝い会と記念品の贈呈、引き続き新3・4年生への就活相談会となりました。

これからも、これらの良い習慣が続くことを祈念いたします。

硬式庭球部OB・OG会幹事長 嘉向 嘉伸



MUTIC15 50周年の集い

MUTIC15とは都立大学・工・工業化学科15回生の英文頭文字を並べたもの。卒業時のメンバーは34名。卒業の翌々年から新年会、忘年会などの形で宴会を行っている。海外や関東から離れて勤務した時期があった人もいたが、今は全員が関東地方で暮らしている。働き盛りで皆が多忙であった時期には5年、6年と間が空いてしまったこともあったが今回で29回目となった。ほとんどリタイアして時間的に余裕ができたこともあり、ここ10年ぐらいは毎年開催されている。会場も固定化されて、毎回選定に悩むこともなくなった。このところ4月中旬の土曜日が定番で、今年は4月22日13時から新宿で行われた。ずっと夕刻の開催だったが、住まいが遠い人に配慮して昼間の開催とした。最近体に変調を来した人が増え参加人数が減って寂しかったが、今年は卒業から50周年ということで18名が出席した。(ただ残念なことこの一年で2人が亡くなった)この会ではなぜか何十周年とかいう意識なしにこれまで経過してきて、実際そういう節

目の年に会が開かれなかったことも多かった。今回も昨年までは今年が50周年目の年だとの感覚はなかった。それが誰言うもなく50周年だと言い出し、これを機に病気と闘っている人も住まいが遠いという人もできるだけ集まろうということになった。あいにく所用と重なったり、直前のケガで出られなくなったりした者もいたが、10年以上顔を出さなかったメンバーもいて全然顔が分からないと言いながら、話が進むうち声を聞いていたら段々昔の顔を思い出したとの声もあった。

来年は30回目という別の意味での節目の年に当たり、今回の反動が出ないようにと期待しつつ散会した。

身崎陽之介(都15・工・工化)



首都大学東京同窓会 会計報告

財務委員長 吉田 俊雄

第13期決算（一般会計）

自 2016年 8月 1日 至 2017年 7月 31日

単位：円

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	49,680,824	会報制作費	5,837,193
入会金	21,360,000	会報発送費	4,783,047
維持会費	6,558,000	会員情報管理費	2,963,120
新年会等参加費	1,195,000	会議費	1,144,357
預金利子	821	新年会等開催費	2,037,225
雑収入	136,000	通信費	423,215
繰入金	4,170,528	学生支援費	3,022,681
小計	33,420,349	学務費	498,438
(前年度繰越金を除く)		人件費	5,466,040
		八雲クラブ運営費	864,000
		八雲クラブ賃借料	2,280,000
		イベント費	324,232
		組織強化費	395,065
		雑費	113,760
		振込手数料等	789,527
		事務所使用料	377,128
		OA環境整備費	310,167
		入会促進費	1,400,150
		会費納入促進費	317,289
		予備費	73,715
		小計	33,420,349
		当年度過不足額(収入-支出)	0
		次年度繰越金	49,680,824
合計	83,101,173	合計	83,101,173

第14期予算（一般会計）

自 2017年 8月 1日 至 2018年 7月 31日

単位：千円

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	49,681	会報制作費	6,170
入会金	21,000	会報発送費	5,025
維持会費	6,546	会員情報管理費	2,900
新年会等参加費	585	会議費	1,550
預金利子	1	新年会等開催費	898
雑収入	80	通信費	400
繰入金	5,877	学生支援費	3,845
小計	34,089	学務費	500
(前年度繰越金を除く)		人件費	5,465
		八雲クラブ運営費	864
		八雲クラブ賃借料	2,280
		イベント費	400
		組織強化費	602
		雑費	70
		振込手数料等	800
		事務所使用料	380
		OA環境整備費	480
		入会促進費	1,360
		会費納入促進費	0
		予備費	100
		小計	34,089
		当年度過不足額(収入-支出)	0
		次年度繰越金	49,681
合計	83,770	合計	83,770

第13期決算（特別会計）

自 2016年 8月 1日 至 2017年 7月 31日

単位：円

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	6,726,644	払込票制作等	551,214
目的寄付	658,654	データベース改定	
維持寄付	662,500	一般会計への繰入金	4,170,528
維持寄付(終身)	3,575,000	小計	4,721,742
小計	4,896,154	当年度過不足額(収入-支出)	174,412
		次年度繰越金	6,901,056
合計	11,622,798	合計	11,622,798

第14期予算（特別会計）

自 2017年 8月 1日 至 2018年 7月 31日

単位：千円

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	6,901	払込票制作等	600
目的寄付	900	データベース改定	
維持寄付	700	一般会計への繰入金	5,877
維持寄付(終身)	3,400	小計	6,477
小計	5,000	当年度過不足額(収入-支出)	-1,477
		次年度繰越金	5,424
合計	11,901	合計	11,901

財産目録

(2017年 7月 31日現在)

単位：円

資産の部	
1	現金・預金
①	現金 手許在高 117,099
②	普通預金 106,464,679
	(内 基本金 50,000,000)
	みずほ銀行 南大沢支店 95,512,473
	三菱東京UFJ銀行 多摩センター支店 10,952,206
③	郵便振替口座
	首都大学東京同窓会 102
	小計 106,581,880
2	造作 八雲クラブ借室改修費用 0
3	投資有価証券 (株)都立大学同窓会サービス株式 (1,750株) 87,500,000
	資産合計 194,081,880
負債の部	
1	前受会費(繰越終身会費) 23,292,000
2	リース残高(積水リース株式会社) 141,228
	負債合計 23,433,228
	差引正味財産 170,648,652

(備考) 繰越終身会費(10年で償却受入れ)

(注)

繰越金内訳	
一般会計繰越金	49,680,824
特別会計繰越金	6,901,056
小計	56,581,880
基本金	50,000,000
合計	106,581,880

八雲クラブ特別会計第13期収支決算報告書

自 2016年 8月 1日 至 2017年 7月 31日

単位：円

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金(A)	3,709,247	(今年度支出)	
(今年度収入)		印刷発送費	1,486,167
会員・会費収入	1,236,796	サロン運営費	318,314
サロン参加費	209,000	講師謝礼	150,000
ビジター利用料	407,100	人件費	342,000
雑収入(預金利子他)	20,014	交通費	77,393
一般会計助成金	864,000	通信費	63,240
小計(B)	2,736,910	清掃費	108,000
		手数料支払など	74,628
		雑費	192,309
		八雲クラブ委員会費	56,410
		振込手数料	2,592
		小計(C)	2,871,053
		今年度損益(D=B-C)	-134,143
		次年度繰越金(E=A+D)	3,575,104
合計(A+B)	6,446,157	合計(C+E)	6,446,157

次年度繰越内訳	三井住友銀行渋谷支店	3,122,213
	神南郵便局振替口座	296,476
	手元現金	156,415
	資産合計	3,575,104
	未払金	
	負債合計	0
	次年度繰越金	3,575,104

会計監査の結果、上記の報告は適正であることを認めます。

2017年 8月 29日

監事 加藤 充子 ㊞
同 君和田洋之 ㊞
同 古川 順光 ㊞

貸借対照表

(2017年1月31日現在)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
流動資産	32,340,656	流動負債	822,211
現金及び預金	32,340,656	未払金	10,295
固定資産	56,774,015	前受金	570,000
・有形固定資産	56,701,215	預り金	816
建物	5,727,535	未払法人税等	241,100
土地	50,973,680	負債の部合計	822,211
・無形固定資産	72,800	純資産の部	
電話加入権	72,800	株主資本	88,292,460
		(資本金)	87,500,000
		資本金	87,500,000
		(利益剰余金)	792,460
		繰越利益剰余金	792,460
資産の部合計	89,114,671	負債及び純資産の部合計	89,114,671

貸借対照表注記事項

原価償却累計額 31,411,185円

損益計算書

自2016年2月1日 至2017年1月31日

単位：円

経常損益の部	
営業損益の部	
【純売上高】	
貸室収入	2,280,000
売上総利益	2,280,000
【販売費及び一般管理費】	1,995,699
営業利益	284,301
営業外損益の部	
【営業外収益】	
受取利息	5,496
雑収入	5,496
経常利益	289,797
税引前当期純利益	289,797
法人税等	241,939
当期純利益	47,858
前期繰越利益	744,602
当期末処分利益	792,460

販売費及び一般管理費

自2016年2月1日 至2017年1月31日

科目	金額
管理費	516,900 円
警備費	284,313
減価償却費	417,273
修繕費	0
事務用品費	1,238
消耗品費	0
水道光熱費	167,058
旅費交通費	84,696
手数料	158,166
租税公課	224,600
交際接待費	10,000
保険料	13,080
通信費	118,375
新聞図書費	0
合計	1,995,699

利益処分計算書

単位：円

【当期末処分利益】	744,602
【次期繰越利益】	792,460
上記の通りご報告申し上げます。	
2017年3月15日	
株式会社 都立大学同窓会サービス	
代表取締役	河口 修
取締役	杉村 哲雄
取締役	横川 邦明
取締役	久保 義丸

会計監査の結果、上記の報告は適正であることを認めます。

監査役 吉田 俊雄
監査役 松本 傳

注 *印は同窓会理事、**印は評議員

首都大学東京同窓会・広報委員会
会報編集委員 (委員は五十音順)
広報委員長 *黒川 信 (都28期・生物)
編集委員長 *野原 剛 (都04期・化学)
委員 *芦沢 清隆 (都17期・建築)
*稲野辺久智 (都54期・史学)
*小原 弘道 (都03期・機械)
*久崎 力 (都09期・電気)
*齋藤 夕子 (都01期・地域)
*関根 紀夫 (都01期・放射)
*根谷崎武彦 (都10期・化学)
*藤田 貴男 (都44期・機械)
*横山 英明 (都43期・化学)
*村山 祥彦 (都05期・経済)
*加藤 充子 (都09期・経済)

編集後記

長年会報の編集に携わってきて、この13号ほど若い会員の文章が多いこと世代間の融合が活発になったことほうれしい限りである。

とくに今年に入って、編集後記を読んで感想文をいただき、編集の大変さを思い激励とご意見を述べていただいた。ホームページを活用したら、メルマガを活用せよ等、費用の節約も含めた多くのご意見は大変励みになった。

ペーパーレスの時代に、このような会報を発行するのは会費の浪費というご意見もある中、会員の絆をいかに強固にするか、その良い方法があればと思う毎日である。広く会員の皆様のお考えをお聞かせいただきたいものである。(野原)



日野キャンパスで 評議員会開催

10月21日、日野キャンパスで評議員会が開催されました。
評議員会に先立って大学側の協力で開催されたキャンパスツアーに多くの評議員が参加され、引き続き評議員会と懇親会が開催されました。



上：新しく制定された大学の
コミュニケーションマーク

左：「銀座の画廊で念願の個展開催」
本文34ページ参照（田村千尋氏）

TMU 第13号 2017年11月25日 発行

発行 首都大学東京同窓会
〒192-0364 東京都八王子市南大沢1-1
直通 電話 042-670-7702
FAX 042-677-2894
大学 電話 042-677-1111(代)(内 2181)
電子メール tmu-al@tmu.ac.jp
ホームページ <http://www.comp.tmu.ac.jp/dousoukai/>
郵便振替口座 00150-0-426678

印刷 京浜印刷株式会社
〒140-0013 東京都品川区南大井4-7-3
TEL 03-3763-7321
FAX 03-3764-6839